

# 2025 Degree Completion Guide

履修案内

国際教養学部

School of International Liberal Arts



宮崎国際大学  
*Miyazaki International University*

## 目次 TABLE OF CONTENTS

1. 国際教養学部の方針 The Three Policies of the School of International Liberal Arts	1
2. 国際教養学部のコースの説明 Description of courses in the School of International Liberal Arts	5
3. 国際教養学部履修規程 School of International Liberal Arts Course Regulations	9
4. 国際教養学部の教育プログラム Academic Program of the School of International Liberal Arts	51
5. 教育方針 Academic Principles	54
6. 学年暦 The Academic Year	57
7. 特定履修要件 Special Course Requirements	58
8. 国際教養学部で取得できる資格 Certificates and Qualifications	60
9. 連携開設科目について	67
10. 履修に関する諸規則 Academic Regulations and Policies	70
表 1 開講授業科目一覧表（国際教養学部） Table 1 Course List (School of International Liberal Arts)	83
諸様式 Forms	92

## 1. 国際教養学部の方針

### 【アドミッション・ポリシー】（求める学生像）

国際教養学部では、本学部の教育方針に共感し、グローバル市民としての自己実現のために本学部で積極的に勉学に励み、卒業時にディプロマ・ポリシーに掲げる教育成果を修得するために、これまでの教育を通して、以下のような基礎的知識・技能及び意欲を有した者を受け入れる方針である。

1. クリティカル・シンキング（比較・分析・統合・評価等）を成長させる意欲を有する。
2. 本学の特徴である英語力・英語コミュニケーション力、異文化理解、幅広い教養の涵養に関心があり、高い学習意欲を持っている。
3. 課題発見及び問題解決の基礎的能力を身につけている。
4. 日英両語におけるコミュニケーション能力のための基礎知識及び意欲を有する。
5. 基礎学力・基礎技能及び自主性を身につけている。

### 【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

国際教養学部では、国内外で活躍できる人材を育成するために、国際的視野の育成と国際共通語としての英語の運用能力の育成を教育的基盤とする。すべてのカリキュラムはグローバルな視野をもった科目群で構成され、教員と学生との距離が近い教育環境を提供するため、授業は少人数で行われる。

グローバル・リベラル・アーツコースにおいては、キャリア教育及び日本語関連の授業を除き、すべての授業を英語で行う。国際ビジネス・マネジメントコース、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育コースについては、科目により日本語もしくは英語が授業言語として使用される。

本学部の教育課程は基礎教育科目、言語科目、海外研修科目、専門教育科目、キャリア教育科目、卒業論文、及び自主研究科目によって構成され、以下のような方針に基づいて編成している。

1. 「フレッシュマン・セミナー」や「キャリアデザイン」等を通じて、よき社会人としての倫理観を育む。
2. グローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の各コースを置き、それぞれの専門性を高める科目を配置する。
3. 学生一人ひとりが研究分野を自ら選択し、各々に研究を進めることを通して、課題発見及び問題解決能力を実践する科目を配置する。
4. すべての学生のクリティカル・シンキング能力を育むアクティブ・ラーニングに基づいた授業を実施する。
5. 日本語の能力を伸ばし、グローバル市民の基盤となる英語力を補完・向上させる言語科目（「日本語表現」「コミュニケーション英語」「アカデミック英語」）を配置する。

6. ICT の知識及び技術を修得し、e ポートフォリオ及びプレゼンテーション等における ICT 技術の活用能力を身につけることができる科目を配置する。

上記の方針は以下のカリキュラムの主な構成に反映させるものとする。

- ① 1 年次および 2 年次前期では、習熟度別の言語科目（英語）と、実社会での円滑なコミュニケーションのための言語科目（日本語）を履修し、英語力と日本語表現力を伸ばす。また、基礎教育科目として、グローバル入門科目を必修とし、グローバル・リベラル・アーツ（人文科学、社会科学、総合科学、社会課題の研究、現代日本の芸術文化）、ビジネス・マネジメント、英語教育の科目を選択し履修する。
- ② 1 年次後期開始までに、グローバル・リベラル・アーツコース、国際ビジネス・マネジメントコース、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育コースのいずれかの履修モデルを選択し、その後の専門科目に備える。
- ③ 1 年次から 2 年次後期の間に、海外研修（必修科目）に参加し、「英語（ESL）」「自由研究」「地域研究」を履修する。
- ④ 3・4 年次では各コースにおける専門性を深め、学びの集大成として、アドバイザーによる指導のもと学生は卒業論文をまとめる。これは学生の成長及び本学部のディプロマ・ポリシーの達成を示すものである。

#### 【ディプロマ・ポリシー】（卒業までに身につけてほしいこと）

国際教養学部では、卒業必修単位 124 単位及び加算評定平均値 1.5 以上を修得し、英語の習熟度要件を満たした学生に対し、学位「学士（比較文化）」を授与する。さらに、世界を舞台に活躍できる国際人として以下の素養ならびに能力の修得を求める。

1. クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。
2. グローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の各コースの教育を通じて基礎および応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。
3. 課題発見及び問題解決能力を身につけている。
4. 日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。
5. 情報技術活用能力を身につけている。

## 1. The Three Policies of the School of International Liberal Arts

#### 【Admission Policy】（The Ideal MIU Student）

The School of International Liberal Arts welcomes students who identify with its educational policies and are motivated to achieve personal realization as global citizens through their studies in the international environment at MIU, and whose high school education has provided a foundation of

knowledge, skills, and motivation to meet the standards described in the Diploma Policy.

1. A desire to develop critical thinking (comparison, analysis, synthesis, evaluation, etc.)
2. Interested in and highly motivated to developing English, English communication skills, cross-cultural understanding, and cultivating broad knowledge, which are the characteristics of MIU
3. Basic ability to identify and solve problems
4. Basic foundation and motivation for developing communicative proficiency in both Japanese and English
5. Foundational academic abilities and skills and self-initiative

### **【Curriculum Policy】** (Curricular Structure and Implementation Policy)

The foundational mission of the School of International Liberal Studies is to foster an international perspective and equip students with practical skills in the global language that is English, positioning them to excel both in Japan and on the global stage. The courses comprising all our curricula are designed with a global outlook, and we maintain small class sizes to facilitate close faculty-student interactions.

In the Global Liberal Arts course, all instruction is conducted in English, except for career education and Japanese language courses. The International Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Education courses utilize Japanese or English as per subject requirements.

The School of International Liberal Arts curriculum comprises basic education courses, language courses, study abroad courses, specialized education courses, career development courses, a graduation thesis, and optional courses. This structure aligns with our guiding principles:

1. We cultivate ethical values and instill qualities of responsible citizenship through courses such as the Freshman Seminar and Career Design.
2. We offer programs in Global Liberal Arts, International Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Language Education, enhancing each student's expertise.
3. Students choose their field of study, and the curriculum is structured to enable them to advance and hone their research skills and problem-solving abilities.
4. Active learning is central to our pedagogy, nurturing critical thinking skills among all students.
5. Language courses, such as "Japanese Expression," "Communication English," and "Academic English," are integrated to develop Japanese language skills and bolster English proficiency, which are crucial for global citizenship.
6. We provide courses for students to acquire ICT knowledge and skills, enabling them to effectively use ICT technology in e-portfolios, presentations, and more.

This curriculum framework manifests in the following structure:

- (1) In the first year and the first half of the second year, students focus on proficiency-based language courses (English) and language courses (Japanese) to enhance their practical language skills. Moreover, they select and engage in a variety of basic education courses in Introduction to Global Education, Global Liberal Arts (humanities, social sciences, general sciences, studies

is social issues, modern Japanese art and culture), Business Management, and English Education.

(2) By the start of the second semester in the first year, students must select one of the following course models: Global Liberal Arts, International Business Management, Hospitality and Tourism Management, or English Language Education, in preparation for specialized courses.

(3) From the first year through the second semester of the second year, students participate in required study abroad and engage in “English (ESL),” “Independent Study,” and “Area Studies.”

(4) In the third and fourth years, students delve deeper into the specializations of their chosen courses, culminating their studies by crafting a graduation thesis under the guidance of their advisors, marking their growth and alignment with the Faculty’s Diploma Policy.

**【Diploma POLICY】** (Qualities Students Should Acquire by Graduation)

The School of International Liberal Arts awards the degree of Bachelor of Arts in Comparative Culture upon students who have successfully completed the requisite 124 graduation credits, achieved a cumulative Grade Point Average (GPA) of 1.5 or higher and completed the English objectives. Students are expected to acquire the qualities and capabilities necessary to contribute to world society as global citizens described below.

1. Advanced cognitive skills (comparison, analysis, synthesis, and evaluation) based on critical thinking (critical and analytic thought)
2. Basic and applied knowledge and the ability to apply it through education in the International Liberal Arts, Global Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Education Courses.
3. The ability to identify and solve problems
4. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English
5. Proficiency in the use of information technology

## 2. 国際教養学部のコースの説明

### グローバル・リベラル・アーツコース (GLA コース)

グローバル・リベラル・アーツコースは、リベラル・アーツに関する知識を有し、持続可能な社会の実現に寄与できるグローバルな人材の育成を目指します。グローバル化が進む現代社会において、幅広い知識を有し国際社会の課題に柔軟に対応できる「グローバルな市民」(global citizen) は、今後ますます求められます。本コースでは、そのような社会の要請に応えられるように、国連が目下、2030 年を目標に世界的に取り組んでいる SDGs (Sustainable Development Goals)の学修をコアに置き、基本教養科目として、リベラル・アーツを基盤とした科目群に加え、短期の海外研修を義務化し、異文化体験を通してグローバルな視野を育てます。専門科目としては、美術、言語と文学、哲学と宗教、歴史といった人文科学分野と、人類学、政治学、心理学、社会学といった社会科学分野に関する専門的な知識を習得させ、自ら考えて行動し、社会の成長と変化に挑戦できる人材を育成します。

本コースの修了生は、各種外資系企業、運輸サービス業、航空運輸業 (CA/GS)、観光サービス業、情報通信企業等での活躍が期待されます。

### 国際ビジネス・マネジメントコース (IBM コース)

国際ビジネス・マネジメントコースは、グローバルな視点を有し、企業や社会のマネジメント(経営管理)ができる人材の育成を目指します。グローバル化が進む現代社会において、今後日本の経済発展のためには、マーケットの拡大など、グローバルな視点で経済動向を捉え、企業経営を考える必要があります。そのために、ビジネスマネジメントに関する専門的な知識とビジネス・スキル(対人・問題解決)を有した人材が求められます。本コースでは、そのような社会の要請に応えられるように、基本教養科目として、リベラル・アーツを基盤とした科目群に加え、短期の海外研修を義務化し、異文化体験を通してグローバルな視野を育てます。専門科目としては、マーケティング、会計学、簿記、経営戦略などの基本的な分野に加え、経済学、経営学に関する専門的な知識を習得させ、企業実習やインターンシップなどの実務的な実習を提供します。

本コースの修了生は、金融・保険業、金融・経営コンサルタン業、各種外資系企業、流通・情報通信業等での活躍が期待されます。

### ホスピタリティ・観光マネジメントコース (HTM コース)

ホスピタリティ・観光マネジメントコースは、英語力を土台に、国内外の文化を深く理解した旅行・観光関連の業界でのプロフェッショナルの育成を目指します。グローバル化は今後も加速し、それに伴い、観光・旅行観光産業も更なる発展が予想されます。中でも日本が誇る「おもてなし」(ホスピタリティ)の精神は、観光旅行業界では人材育成に欠かせない要素として注目されています。このような業界の要請に応えるため、本コースでは基本教養科目として、リベラル・アーツを基盤とした科目群に加え、短期の海外研修を義務化し、異文化体験を通して

グローバルな視野を育てます。専門科目として、マーケティング、会計、経営戦略などの実践的なビジネス科目、さらに持続可能な観光、ホスピタリティ管理、地域文化（PBL）などを学び基礎的な知識を習得させ、さらに実務的なスキルを育てるためにインターンシップの機会を提供します。また、近い将来、サイバー空間でのバーチャル観光も増えてきます。現地に行かずとも、サーバー空間で見たことの無い地域に行き、観光を体験できるシステムです。このような観光業などに対応する科目も揃えていくことになります。

本コースの修了生は、ホテルマネージャー、客室乗務員（CA）、空港のグランドスタッフ(GS)、リゾートマネージャー、ツアーガイド等のホスピタリティおよび観光産業分野での活躍が期待されます。

### **英語教育コース（TC コース）**

英語教育コースは、グローバルな視点を有し、高度な英語力と指導力を持った英語教員の育成を目指します。小学校でも 2020 年度から英語が教科化され、中学校と高等学校では、「英語の授業は英語で指導できる」高度な英語力と指導力を持った教員が求められ、特に児童・生徒の「話す力」の育成が重要課題として挙げられています。本コースでは、そのような日本の英語教育の課題に十分応えられるように、基礎教養科目として、リベラルアーツを基盤とした科目群に加え、短期の海外研修を義務化し、異文化体験を通してグローバルな視野を育てます。専門科目としては、英語学、英語文学、英語コミュニケーション力、異文化理解の各分野について専門的な知識と技術を習得させ、さらに英語の教員免許状に必要な教育に関する教職科目、そして教育実習の機会を提供します。

本コースの修了学生は、中学校や高校、さらには小学校など公立学校や私立学校の英語教員、国内外の民間の教育機関での活躍が期待されます。

## **2. Description of courses in the School of International Liberal Arts**

### **Global Liberal Arts Course (GLA Course)**

The Global Liberal Arts course aims to nurture global human resources with knowledge of the liberal arts who can contribute to the realization of a sustainable society. In today's globalized society, there is an increasing demand for "global citizens" who possess a broad range of knowledge and can flexibly respond to the challenges of international society. In order to meet the demands of such a society, this course places the study of the Sustainable Development Goals (SDGs), which the United Nations is currently promoting worldwide by 2030, at its core, and offers a series of liberal arts-based courses as basic liberal arts subjects, as well as mandatory short-term overseas training and cross-cultural experiences. In addition to the basic liberal arts subjects, students are required to participate in short-term overseas training programs to develop a global perspective through cross-cultural experiences. In specialized subjects, students acquire specialized knowledge in the humanities, including fine arts, language and literature, philosophy and religion, and



history, as well as in the social sciences, including anthropology, political science, psychology, and sociology.

Graduates of this course are expected to be active in various foreign companies, transportation services, airline transportation (CA/GS), tourism services, and information and communication companies.

### **International Business Management Course (IBM Course)**

The International Business Management Course aims to develop human resources who have a global perspective and are capable of managing companies and society (business management). In today's globalized society, it is necessary for Japan's future economic development to consider corporate management from a global perspective, including market expansion, and to have specialized knowledge and business skills (interpersonal and problem solving) in business management. To this end, people with specialized business management knowledge and business skills (interpersonal and problem solving) are required. In order to respond to such demands of society, this course offers liberal arts-based courses as basic liberal arts subjects, as well as mandatory short-term overseas training programs to cultivate a global perspective through cross-cultural experiences. As for specialized courses, in addition to basic fields such as marketing, accounting, bookkeeping, and management strategy, students are required to acquire specialized knowledge in economics and business administration, and practical training such as company internships and practical business training is provided.

Graduates of this course are expected to be active in the finance and insurance industry, financial and management consulting, various foreign-affiliated companies, and the distribution and information and communications industries.

### **Hospitality and Tourism Management Course (HTM Course)**

The Hospitality and Tourism Management course aims to develop professionals in travel and tourism related industries with a deep understanding of domestic and international cultures, based on a foundation of English language skills. Globalization will continue to accelerate in the future, and the tourism and travel and tourism industry is expected to develop further along with it. In particular, the spirit of "Omotenashi" (hospitality), which is the pride of Japan, is attracting attention as an essential element for human resource development in the tourism and travel industry. In order to respond to the demands of the industry, this course offers liberal arts-based courses as basic liberal arts subjects, as well as mandatory short-term overseas training programs to cultivate a global perspective through cross-cultural experiences. In addition, short-term overseas training is mandatory to foster a global perspective through cross-cultural experiences. In specialized courses, practical business subjects such as marketing, accounting, and business strategy, as well as sustainable tourism, hospitality management, and local culture (PBL) are studied to acquire basic knowledge, and internships are offered to foster practical skills. In addition, virtual tourism in cyberspace will increase in the near future. This is a system that allows visitors to go to areas they have never seen

before in server space and experience tourism without having to go to the actual site. We will also offer courses for this type of tourism.

Graduates of this course are expected to work in the hospitality and tourism industry as hotel managers, flight attendants (CA), airport ground staff (GS), resort managers, tour guides, etc.

### **English Education Course (TC Course)**

The English Education Course aims to develop English teachers with a global perspective and advanced English language and teaching skills. English was made a school subject in elementary schools from the 2020 school year, and in junior high and high schools, teachers with advanced English language and teaching skills who can "teach English classes in English" are required, with the development of students' "speaking ability" being cited as a particularly important issue. In this course, in order to fully respond to such issues in English education in Japan, in addition to liberal arts-based subjects as basic liberal arts courses, short-term overseas training will be made mandatory to foster a global perspective through cross-cultural experiences. In addition, we offer teaching courses and practical training in teaching that are required for English teacher certification.

Students who complete the course are expected to be active as English teachers in public and private schools, including junior high schools, high schools, and even elementary schools, as well as in private educational institutions in Japan and abroad.

### 3. 国際教養学部履修規程

**第1条** 履修方法については、学則のほか、ここに定める規程による。

2 教育課程はセメスター制とする。

**第2条** 授業科目の種類は、授業及び実習とする。単位算定基準は授業の場合、概ね 15 時間をもって 1 単位とする。実習の場合は、概ね 30 時間をもって 1 単位とする。授業科目の区分及び種類は、次のとおりとする。

基礎教育科目	自由選択科目
言語科目	卒業論文
キャリア教育科目	自主研究科目
海外研修科目	認定科目
専門教育科目	

国際教養学部には、グローバル・リベラル・アーツコース、国際ビジネス・マネジメントコース、ホスピタリティ・観光マネジメントコース、英語教育コースの 4 コースを置き、学生は 1 年後期開始時まで所定の様式「Course Selection/Change Application Form」を用いてコースを決定しなければならない。2 年次終了時にコース変更を希望する場合は、アドバイザーと話し合った上で、同じ様式を用いてコース変更手続きを行う。

教科学習法に関しては、「日本語表現」、「日本語」、及び自主研究科目を除く全教科の授業言語は英語とする。但し、国際ビジネス・マネジメントコース、ホスピタリティ・観光マネジメントコース、英語教育コースについては、一部の科目は日本語が授業言語として使用される。

3 年次編入生の基礎教育科目、言語科目及び海外研修の科目については、他大学で修得した科目で認定できる単位は、本学 1・2 年次のカリキュラムの範囲で本学の教育内容に呼応したもののみとする。所定の必修単位数である 68 単位を下回る場合には、学部長がカリキュラム委員会と相談の上、不足単位を満たすための履修方法を決定する。

3・4 年次において、交換留学等、本学の許可を得て海外に位置する大学の教育プログラムに参加し科目を履修する場合、学部長があらかじめ認めた科目については、その単位は本学の専門教育科目の単位として認定される。

#### 1 基礎教育科目

基礎教育科目は、国際教養学部 基礎教育科目の中から、グローバル教育入門に配置された 4 科目（必修 10 単位）を修得しなければならない。「多国言語と文化」は、言語と文化を学ぶ授業が複数開講され、いずれかの科目を 1 年次から 4 年次の履修期間に学ぶ。（注：年度ごとの教員配置によっては、開講されない科目もある）

その他の基礎教育科目での各教育コースの卒業に必要な単位数を下記に示す。以下の表において、（日本語）の表記のない場合は、授業は英語で行われる。

- ・ グローバル・リベラル・アーツコースでは、人文科学、社会科学、総合科学、社会課題の研究・現代日本の芸術文化から 10 単位以上を修得し、基礎教育科目全体から 20 単位以上を修得しなければならない。
- ・ 国際ビジネス・マネジメントコースおよびホスピタリティ・観光マネジメントコースでは、「マーケティング（日本語）」「現代ビジネス論（日本語）」「ビジネス実務総論 1（日本語）」「ビジネス実務総論 2（日本語）」「観光概論」「イベント企画とマーケティング」の 12 単位（必修科目）を含んで、基礎教育科目から 22 単位以上修得しなければならない。
- ・ 英語教育コースでは、卒業のためには、基礎教育科目から 26 単位以上修得しなければならない。但し、教員免許取得のためには、国際教養学部基礎教育科目「英語教育」に掲げるすべての科目（29 単位）を修得しなければならない。

国際教養学部 基礎教育科目

科目	単位数			卒業に必要な 単位数
	必修	選択必修	選択	
グローバル教育入門				10 単位 ☆から 2 単位履修
フレッシュマン・セミナー	2			
世界市民入門	2			
情報科学基礎 1	2			
情報科学基礎 2	2			
多国言語と文化				
中国の言語と文化		2 ☆		
中南米の言語と文化		2 ☆		
カナダの言語と文化		2 ☆		
ポーランドの言語と文化		2 ☆		
キューバの言語と文化		2 ☆		
フィリピンの言語と文化		2 ☆		
オーストラリアの言語と文化		2 ☆		
英国の言語と文化		2 ☆		
米国の言語と文化		2 ☆		
ドイツの言語と文化		2 ☆		
総合科学				グローバル・リベラル・アーツコースでは、10 単位以上  * シラバスに履修条件が記載してあります。
自然・生命科学概論			2	
数理思考概論			2	
データサイエンス概論			2	
情報リテラシー			2	
人文科学				
美術史概論			2	
宗教学概論			2	
哲学概論			2	
文学概論			2	
歴史学概論			2	
英語総合演習 1 *			1	

英語総合演習 2 *			1	
社会科学				
人類学概論			2	
経済学概論			2	
政治学概論			2	
心理学概論			2	
社会学概論			2	
社会課題の研究				
異文化間コミュニケーションの理解			2	
国際社会の課題			2	
比較政治の課題			2	
人間関係の課題			2	
現代デザイン			2	
現代日本の芸術文化				
日本の大衆文化			2	
日本の美術			2	
日本の写真表現と撮影法			2	
ビジネス・マネジメント				○は、国際ビジネス・マネジメントコースの必修科目 (12 単位)  ☆は、ホスピタリティ・観光マネジメントコースの必修科目 (12 単位)
マーケティング	2 ○ ☆			
会計学 1			2	
会計学 2			2	
簿記			2	
現代ビジネス論	2 ○ ☆			
ビジネス実務総論 1	2 ○ ☆			
ビジネス実務総論 2	2 ○ ☆		2	
経営戦略入門			2	
観光概論	2 ○ ☆			
観光における SDGs			2	
イベント企画とマーケティング	2 ○ ☆		2	
英語教育				◎は、英語教育コースの必修科目 (29 単位)
英語学習のための言語学	2 ◎			
英語学習のための文学	2 ◎			
英語発音指導のための音韻学	2 ◎			
英語文学 A	2 ◎			
英語文学 B	2 ◎			
教職概論	2 ◎			
教職英語	2 ◎			
教育原理	2 ◎			
健康の科学	1 ◎			
体育実技	1 ◎			
日本国憲法	2 ◎			
教育課程論	2 ◎			

教育制度論	2◎			
第二言語習得論 1	2◎			
教育と ICT 活用の方法	1◎			
英語学習のための異文化理解	2◎			

## 2 言語科目

言語科目は、国際教養学部言語科目の中から、グローバル・リベラル・アーツコース、国際ビジネス・マネジメントコースおよびホスピタリティ・観光マネジメントコースの学生は 24 単位以上、英語教育コースの学生は 12 単位以上修得しなければならない。

秋季入学生及び入学時に高い英語力を持つ学生の言語科目については、知識及び技能に関する審査における成果（TOEIC スコア 500 点もしくはそれに相当する点数）により、英語 4 単位を得ることができる。ここでの 4 単位は本学における授業科目の履修とみなされる。

言語科目 (グローバル・リベラル・アーツコース、 国際ビジネス・マネジメントコース、ホス ピタリティ・観光マネジメントコース)	単位数			卒業に必要な 単位数
	必修	選択必修	選択	
コミュニケーション英語 1	4			24 単位
コミュニケーション英語 2	4			
コミュニケーション英語 3	4			
アカデミック英語 1	4			
アカデミック英語 2	4			
アカデミック英語 3	4			

言語科目 (英語教育コース)	単位数			卒業に必要な 単位数
	必修	選択必修	選択	
コミュニケーション英語 1			4	12 単位以上
コミュニケーション英語 2			4	
コミュニケーション英語 3			4	
アカデミック英語 1	4			
アカデミック英語 2	4			
アカデミック英語 3	4			

言語科目（日本語）については、日本人学生は「日本語表現 1～3」6 単位を修得しなければならない。留学生・帰国生徒は「日本語 1～日本語 6」の中で 6 単位以上修得しなければならない。但し、「日本語 4」は必修とする。6 単位を超えて修得した単位は「自由選択科目」に組み入れる。日本語上達者は「日本語表現」を受講することができる。

言語科目 (日本語)	単位数			卒業に必要な 単位数
	必修	選択必修	選択	
日本語表現 1		2☆		日本人学生は☆から 6 単位
日本語表現 2		2☆		
日本語表現 3		2☆		
日本語 1		3◎		到達度別クラス編成

日本語 2		3◎		留学生は◎から 6 単位以上。 但し、「日本語 4」は必修とする。
日本語 3		3◎		
日本語 4	2◎			
日本語 5		2◎		
日本語 6		2◎		

### 3 キャリア教育科目

「キャリア・デザイン 1～3」では、自己を見つめ、人間としてのあり方・生き方を探求するとともに、望ましい勤労観・職業観を身に付けさせることによって、社会的・職業的自立に必要な能力を育成する。なお、「キャリア・アクティビティー」の単位は、インターンシップについては連続して 30 時間以上、ボランティア活動については複数活動を合わせて 30 時間以上参加した場合に認めることができる。詳細は「キャリア・アクティビティー」（教務部にて入手）を参照すること

#### 国際教養学部 キャリア教育科目

科 目	単位数			卒業に必要な 単位数
	必修	選択	自由	
キャリア・デザイン 1（日本人・留学生）	2			
キャリア・デザイン 2	2			
キャリア・デザイン 3	2			
キャリア・デザイン 2（留学生）	2			
キャリア・デザイン 3（留学生）	2			
キャリア・アクティビティー			1	
自然災害と防災		2		

### 4 海外研修科目

全学生（編入学生を除く）は、海外研修科目を履修する。学生は（１）英語を母国語とする国、もしくは英語が授業言語である大学の所定のプログラム、または、（２）海外へ行くことができない場合は、本学で実施する集中プログラムに参加する。海外研修期における単位数は、第二言語（6 単位）、自由研究（2 単位）（テーマは海外研修先教員と相談のうえ決定する。）、及び地域研究（6 単位）、の合計 14 単位とする。ただし、英語教育コースでは、海外研修期間は約 1 ケ月とし、地域研究（6 単位）だけを履修し、この中には事前事後指導が含まれる。

#### 国際教養学部 海外研修科目

科目	単位数		卒業に必要な単位数（注 1）
	必修	選択	
第二言語	6		14 単位
自由研究	2		
地域研究	6		

注 1）ただし、英語教育コースでは、地域研究（6 単位）だけを履修する。

本学の交換留学制度により、海外の大学で修得した単位を認定する場合は、評価を「N（認定）」とする。認定を希望する学生は、「3・4 年次における海外の大学での研修許可願い」を提出しな

なければならない。但し、英語、日本語表現及び総合科学科目はこれに該当しない。

## 5 専門教育科目

~~「国際教養学部専門教育科目」に掲げる開講科目は、令和4-(2022)年度入学生および令和5-(2023)年度入学生にも遡って適用する。~~

- ・ グローバル・リベラル・アーツコースでは、「人文科学」から 10 単位以上、「社会科学」から 10 単位以上、「学際的研究」から 10 単位以上を含み、国際教養学部専門教育科目の中から、30 単位以上修得しなければならない。
- ・ 国際ビジネス・マネジメント・コースでは、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「ICT 総合実践」「ビジネス実践演習 1」「ビジネス実践演習 2」の必修科目 10 単位を含み、「専門教育科目」から 30 単位以上修得しなければならない。
- ・ ホスピタリティ観光マネジメントコースでは、「ICT 総合実践」「観光産業」「ホスピタリティマネジメント」「観光業務とプランニング」「ホスピタリティと観光ビジネスのマーケティング」の必修科目 10 単位を含み、国際教養学部専門教育科目の中から 30 単位以上修得しなければならない。
- ・ 英語教育コースの卒業に必要な単位数は 62 単位以上である。ただし教員免許の取得のためには、「専門教育科目 英語教育コース」の必修科目 30 単位、選択必修科目 8 単位以上を含んで 49 単位以上修得しなければならない。

### 国際教養学部 専門教育科目

科 目		必修	選択必修	選択	
人文学	美術				グローバル・リベラル・アーツコースでは人文科学から 10 単位以上
	美術と社会			2	
	国際美術の課題			2	
	言語と文学				
	英語による世界の諸文学			2	
	日本文学			2	
	比較文学			2	
	言語学の課題			2	
	英文学			2	
	米文学			2	
	中国研究			2	
	韓国研究			2	
	哲学と宗教				
	論理学			2	
	東西哲学			2	
	倫理学理論			2	
	ヨーロッパ主知主義史			2	
	宗教と現代社会			2	



	歴史							
	日本の歴史			2				
	近世世界史			2				
	比較歴史学			2				
	近世ヨーロッパ史			2				
	歴史と歴史学の課題			2				
社会科学	人類学					グローバル・リベラル・アーツコースでは社会科学から 10 単位以上		
	世界民族誌学			2				
	人類学の課題			2				
	政治学							
	比較外交政策論			2				
	世界の政治			2				
	心理学							
	メンタルヘルスの課題			2				
	発達心理学			2				
	カウンセリング心理学			2				
	心理学の課題			2				
	ポジティブ心理学			2				
	社会学							
	現代社会理論			2				
	日本の社会			2				
	社会学の課題			2				
	EU の政治と社会			2				
	学際的研究	研究法Ⅰ データ収集			2			グローバル・リベラル・アーツコースでは学際的研究から 10 単位以上
		研究法Ⅱ データ分析			2			
グローバル・スタディの基礎				2				
紛争研究と平和論				2				
表現とディベート				2				
<del>国際ビジネスコミュニケーション</del>				2				
国際関係論				2				
人工知能概論				2				
データサイエンス概論				2				
情報通信ネットワーク概論				2				
地球環境				2				
植物学概論				2				
プレゼンテーション技術と表現				2				
現代の写真				2				
ビジネス・マネジ	ミクロ経済学	2○				○は、国際ビジネス・マネジメントコースの必修科目 (10 単位)		
	マクロ経済学	2○						
	経営学の課題			2				
	国際貿易			2				
	国際ビジネス			2				
	ICT 総合実践	2○☆		2				
	開発経済学			2				
	日本経済			2				
					☆は、ホスピタリティ・観			

メ ン ト	経済学の課題			2	光マネジメントコースの必修科目(10 単位)
	投資運用			2	
	コーポレートファイナンス			2	
	アントレプレナーシップ			2	
	ビジネス英語			2	
	留学生のためのビジネス日本語 1			2	
	留学生のためのビジネス日本語 2			2	
	ビジネス実践演習 1	2 ○			
	ビジネス実践演習 2	2 ○			
	ビジネス実践演習 3	<del>2</del> ⊖		2	
	インターンシップ			2	
ホ ス ピ タ リ テ ィ ・ 観 光	観光産業	2 ☆			
	観光英語			2	
	観光情報学入門			2	
	ホスピタリティマネジメント	2 ☆			
	観光業務とプランニング	2 ☆			
	ホスピタリティと観光ビジネスのマーケティング	2 ☆			
	デジタル時代の観光			2	
	観光におけるデジタルトランスフォーメーション			2	
	日本の地域文化 1			1	
	日本の地域文化 2			1	
	日本の地域文化 3			1	
	日本の地域文化 4			1	
	地域課題演習			1	
英 語 教 育	特別活動の指導法（日本語）	2 ●			●は、英語教育コースの必修科目  ◎から 1 科目 ☆から 1 科目  △および□は 免許取得に必要な科目
	英語科教育法 1（日本語）	2 ●			
	第二言語習得論 2	2 ●			
	北米の思想と文化		2 ◎		
	イギリスの思想と文化		2 ◎		
	コミュニケーションのための教育技術と教育機器	2 ●			
	英語学 1	2 ●			
	英語学 2	2 ●			
	英語文学の理解		2 ☆		
	英語文学分析 1		2 ☆		
	言語評価			2	
	英語科教育法 2	2 ●			
	英語科教育法 3	2 ●			
	英語科教育法 4	2 ●			
	指導のためのアカデミック・スピーキング	2 ●			
	指導のためのアカデミック・ライティング	2 ●			
	多文化共生論	2 ●			
	道徳教育論（日本語）			2 △	
	総合的な学習の時間の指導法（日本語）			1 △	
	生徒・進路指導論（日本語）			1 △	
	教育相談（日本語）			2 △	

教育心理学	2 ●			
特別支援教育概論	2 ●			
介護等体験（日本語）			2	
事前・事後指導（日本語）			1 □	
教育実習ⅠA（日本語）			4 □	
教育実習ⅠB（日本語）			2 □	
教職実践演習（中・高）（日本語）			2 □	
指導のための英語表現	2 ●			

#### グローバル・リーダーシップ・プログラム

グローバル・リーダーシップ・プログラムを履修し、修了証書を取得したい学生は、通常の卒業要件に加え下表の単位を取得し、別に定めるインターンシップに参加する必要がある。

#### グローバル・リーダーシップ・プログラム科目

科 目	単位数		備考
	必修	選択	
比較外交政策論	2 ◎		◎から2単位 ☆から2単位、 それぞれ必修
国際関係論	2 ◎		
論理学	2 ☆		
倫理学	2 ☆		
比較歴史学		2	
<del>国際コミュニケーション</del>		<del>2</del>	
グローバル・スタディの基礎		2	
地球環境		2	
紛争研究と平和論		2	

## 6 自由選択科目

自由選択科目は、本学が開講した授業科目の中から、授業科目の区分及び種類に関係なく受講することができる科目です。

また、他大学で修得した科目（認定科目）、SPARC 開講科目を自由選択科目として、卒業必要単位に加えることができる。

3・4年次において本学の許可を得て、他大学で学修する場合は、その履修科目を本学専門教育科目と読み替え、単位の取得を認めるものとする。受入れ大学で履修するすべての科目は「国内外の大学での学修に関する規則及び手続き（Request for Approval of Program of Study at an Overseas or Domestic University in 3rd or 4th Year）」に従って、本学があらかじめ承認しなければならない。

## 7 卒業論文

卒業論文は、卒業論文指導教員の指導のもと作成される。卒業論文指導教員は3年次前期

修了までに決定される。卒業論文は必修科目で6単位とし、その必要要件は履修規程第7条のとおりである。

国際教養学部 卒業論文

科 目	単位数		卒業に必要な 単位数
	必修	選択	
卒業論文 1	2		6 単位
卒業論文 2	4		

## 8 自主研究科目

自主研究科目は、単位認定されるが、卒業単位には算入されない。文献講読は個別指導又はゼミ形式とする。

国際教養学部 自主研究科目

科 目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文科学の文献講読 1			2	
人文科学の文献講読 2			2	
社会科学の文献講読 1			2	
社会科学の文献講読 2			2	
中国語 1			2	
中国語 2			2	
韓国語 1			2	
韓国語 2			2	
企業簿記			2	

## 9 単位

### (1) 算定基準

授業は原則として、15 週間（1 週 45 分以上）をもって 1 単位とする。実習は、15 週間（1 週間 135 分以上）をもって 1 単位とする。

- (2) 本学に入学を許可された学生が、他の大学または短期大学において既に修得した単位を有する場合、その単位については教授会の議を経て、30 単位を超えない範囲で本学において修得した単位とみなすことができる。

単位数及び本学卒業要件科目への適合については、本学の成績評価に算入し、学部長がカリキュラム委員会と検討の上決定する。他大学または短期大学で修得した単位を認定する場合は、評価を「N（認定）」とする。交換留学などにおいて認定可能な科目を修めた場合、評価は「P（合格）」とする。認定科目は複数回認めることができる。

**第3条** 卒業の要件として、次のとおり合計 124 単位以上を修得しなければならない。各コース

の「卒業に必要な単位数」は下記のとおりとなる。なお、コースごとの卒業要件を満たした上で、他のコースの授業も履修できる。

グローバル・リベラル・アーツコースの卒業に必要な単位数		
科目区分	卒業に必要な単位数	備考
基礎教育科目	20 単位以上	グローバル教育入門（必修科目）から 10 単位、人文科学、社会科学、総合科学、社会課題の研究・現代日本の芸術文化から 10 単位以上を修得し、基礎教育科目全体から 20 単位以上を修得。
言語科目	30 単位	必修
キャリア教育科目	6 単位以上	必修
海外研修	14 単位	必修
専門教育科目	30 単位以上	専門教育科目（人文科学）から 10 単位以上を修得
		専門教育科目（社会科学）から 10 単位以上を修得
		専門教育科目（学際的研究、 <del>ビジネス・マネジメント、英語教育</del> ）から 10 単位以上を修得
自由選択科目	18 単位以内	開講科目全体、および他大学で修得した科目、SPARC 開講科目から 18 単位以内で修得することができる。
卒業論文	6 単位	必修
合計取得単位数	124 単位以上	

国際ビジネス・マネジメントコースの卒業に必要な単位数		
科目区分	卒業に必要な単位数	備考
基礎教育科目	22 単位以上	グローバル教育入門（必修科目）から 10 単位、ビジネス・マネジメントの必修科目からの 12 単位を含む基礎教育科目 22 単位以上を修得
言語科目	30 単位	必修
キャリア教育科目	6 単位以上	必修
海外研修	14 単位	必修
専門教育科目	30 単位以上	専門科目（ビジネス・マネジメント）の必修科目から 10 単位を修得
		専門教育科目（人文科学、社会科学、学際的研究、ビジネス・マネジメント、英語教育）から 20 単位以上を修得
自由選択科目	16 単位以内	開講科目全体、および他大学で修得した科目、SPARC 開講科目から 16 単位以内で修得することができる。
卒業論文	6 単位	必修
合計取得単位数	124 単位以上	

ホスピタリティ観光マネジメントコースの卒業に必要な単位数		
科目区分	卒業に必要な	備考

	な単位数	
基礎教育科目	22 単位以上	グローバル教育入門（必修科目）から 10 単位、ビジネス・マネジメントの必修科目から 12 単位を含む基礎教育科目から 22 単位以上を修得
言語科目	30 単位	必修
キャリア教育科目	6 単位以上	必修
海外研修	14 単位	必修
専門教育科目	30 単位以上	ビジネス・マネジメントおよびホスピタリティ・観光の必修科目から 10 単位を修得 専門教育科目（人文科学、社会科学、学際的研究、ビジネス・マネジメント、英語教育）から 20 単位以上を修得
自由選択科目	16 単位以内	開講科目全体、および他大学で修得した科目、SPARC 開講科目から 16 単位以内で修得することができる。
卒業論文	6 単位	必修
合計取得単位数	124 単位以上	

英語教育コースの卒業に必要な単位数

科目区分	卒業に必要な単位数	免許取得に必要な単位数	
基礎教育科目	26 単位以上	39 単位	グローバル教育入門（必修科目）から 10 単位、「英語教育」の必修科目から 29 単位を修得
言語科目	18 単位		必修
キャリア教育科目	6 単位以上		必修
海外研修	6 単位		必修
専門教育科目	62 単位	49 単位	英語教育の必修科目の 30 単位、選択必修科目からの 8 単位を含んで 49 単位以上を修得
卒業論文	6 単位		必修
合計取得単位数	124 単位以上	121 単位以上	

**第 3 条の 2** 英語の習熟度要件を満たさない学生は、3 年生の後期開始時に「コースに属さない学生」としての申請書を教務部に提出して、学部長および教務部長と相談の上、専門教育コースから 20 単位以上修得する必要がある。その上、卒業までに、TOEIC 500 点、TOEFL 450 点、TOEFL CBT 133 点、または TOEFL iBT 45 点以上を取得しなければならない。

**第 4 条** 授業時間割は、教授会の議を経て教務部の定める要件に基づき作成されるものとする。

**第 5 条** 履修科目登録及び履修科目変更の手続きは下記のとおりである。

(1) 履修科目登録

学生は、個別指導教員と相談したうえ、履修科目登録票を記入し教務部に提出する。登録は、本学の教育方針に則したクラス規模を維持するため、クラスの空席状況を考慮のうえ決定される。

(2) 履修科目登録票の提出期間

提出書類は学生にあらかじめ配布されるとともに、その提出期限については十分周知される。

### (3) 履修科目登録の変更

履修科目登録の変更は、各学期授業開始一週間以内（科目辞退・追加期間）のみ許可するものとする。その場合、学生は空きのある科目のみ追加することができる。登録の変更（科目辞退・追加）を希望する者は、所定の履修科目変更届用紙に当該科目担当教員及び個別指導教員の署名をもらい、教務部に提出し、履修科目変更の許可を受けなければならない。

## 第6条 試験の実施及び成績の評価は次のとおりである。

### (1) 試験

試験には、期末試験、不定期に実施される小試験、その他がある。試験及び諸課題に適用される本学の学業に対する誠実的取り組みについての考え方は、学生便覧にその詳細が記載されている。また、試験を受ける際の注意事項は、その都度試験会場にて伝えられる。

### (2) 期末考査

期末考査は、筆記によるもの、もしくは記述、口頭、あるいは視覚的材料を使ったレポート、又はクラス発表におけるそれぞれの採点部分の合計による総合的評価をもって行われる。レポート、又はクラス発表については、個人によるものの場合とグループによるものの両方が考えられる。なお、期末考査は、期末試験期間に設定された試験時間を最終期限として終了する。

### (3) 追試験

学生は正当な理由によって期末試験を受けることができなかった場合は、追試験の願出を行うことができる。この願出は、病気の場合には医師の診断書、就職活動における面接・試験の場合にはキャリア教育センターの証明書を担当教員に提出しなければならない。また、学部長の許可なしに追試験を行うことはない。

### (4) 成績

本学の成績評価は学則に定められており、学生便覧に明記されている。

## 第7条 全学生は卒業要件の一部を満たすものとして、卒業論文を提出しなければならない。卒業論文は、通常、卒業論文指導教員の指導のもと作成される。

### 2 卒業論文の登録

学生は3年次前期末に卒業論文に関する説明を聞いた後、希望する教員との面接等を経て指導教員が決定される。卒業論文の内容は主として3・4年次の学修内容に関連するものとする。テーマの選択については3年次前期から検討を始めるものとする。

### 3 卒業論文の研究課題及び研究計画の提出



学生は、主題、研究計画及びその概要を卒業論文指導教員に提出する。その主題、研究計画・概要は別に定める様式で作成する。指導教員の承諾を得た主題、研究計画案・概要は本条第 9 号に定める締切りまでに教務部に提出しなければならない。これらの手続きは、研究計画・概要が主たる研究範囲、実践計画、調査すべき内容、研究方法などを明確に記録しておくためのものである。

#### 4 指導及び報告書の提出

指導教員は毎週、担当学生の進捗状況に応じて指導を行い、出席管理も行う。また、3 年次及び 4 年次にわたって担当するすべての学生の進捗状況について学期ごとに教務部に報告書を提出しなければならない。

#### 5 卒業論文の提出

全学生は、完成版卒業論文の原本を、卒業論文提出用紙添付のうえ、本条第 9 号に定める最終締切日（その日が休祝日の場合はその翌日）までに教務部に提出しなければならない。B 評価以上の原本は、宮崎学園図書館に保管される。

#### 6 卒業論文の形式

卒業論文の本文は英語で書かれるものとする。引用文については引用文献の言語を使うことができるが、その場合は英訳を併記しなければならない。卒業論文の形式は、教務部で定めるスタイル及び印刷上の基準に基づくものとする。

卒業論文の研究課題は、広義にみた国際教養学部教育方針及び各コースの諸テーマに沿ったものであり、本文のワード数は、原則として、4000 語以上とする。論文の形式はその研究課題、領域、及び研究デザインに対応した適切なものでなければならない。学生の研究課題の選択・内容の絞り込み、あるいは研究計画を支援するため、卒業論文指導教員は口頭発表等を目的とするセミナーを定期的に計画・実施するものとする。

#### 7 卒業論文の評価

全ての卒業論文は、論文の査読、及びコースごとの卒業論文発表会における個別の口頭発表と口頭試問によって卒業論文指導教員卒業論文指導教員によって評価される。担当教員は評定結果を 1 月 30 日（その日が休祝日の場合はその翌日）までに教務部に提出する。評価は、他の科目同様、A「秀」、B「優」、C「良」、D「可」、F「不可」のいずれかとなる。これらは、別途配布されるループブックに基づき評価される。

「優秀」の評価を受けた卒業論文の中から「最優秀論文賞」を選考する。「最優秀論文賞」は、コースごとの卒論発表会において「優秀」と評価された論文の中からコース長が推薦し、それを卒業論文審査委員会（学部長と両副学部長からなる委員会）が審査し決定する。その場合は、成績評価は「A」評価とともに「最優秀」が表記される。

なお、卒業論文規程に定められた締切日までに完成版卒業論文を提出しない 4 年生にはその年度での卒業が許可されない。卒業論文の評価には「X」（単位未修得）が与えられる。その学生は少なくとも更に 1 学期間本学に在籍し、翌年度の卒業論文規程に定められた締切日までに卒業論文を完成させるまで、卒業の資格が与えられないものとする。



## 8 卒業論文の単位

D（可）以上の評価で合格したものには6単位が与えられ、卒業単位に算入される。学生は、通常、3年次後期において「卒業論文1」を2単位分登録し、必修要件を満たした記しとして成績通知書に「P」の表記が行われる。4年次では、「卒業論文2」を通年で登録し、卒業論文終了後適切な評価に対して4単位が与えられる。

## 9 スケジュール

卒業論文の作成は、以下のスケジュールに従うものとする。

要件		締切日
1	指導教員の選出	July 3
2	研究課題と研究概要（指導教員及び教務部へ提出）	Oct 15
3	卒業論文タイトル、研究計画及び参考文献欄（指導教員へ提出）	Nov 15
4	研究テーマ及び提案書またはアブストラクト（要約）（指導教員へ提出）	Dec 15
5	「卒業論文1」の報告書の提出（指導教員及び教務部へ提出）	Jan 31
6	「卒業論文2（前期）」の報告書の提出（指導教員及び教務部へ提出）	July 31
7	卒業論文の提出（指導教員へ提出）	Jan 10
8	卒業論文の評価（教務部へ提出）	Jan 30

## 第8条 授業への出席

全ての授業への出席が求められる。本学の教育プログラムの積極的学習が成果をあげるか否かは、学生が授業に積極的に休まず参加するか否かによる。したがって、成績向上のためにも、学生はすべての授業や実習への出席が義務づけられている。

本学はさまざまな方法で学生の授業への出席を強く促す。欠席した学生には補習を求める。教員は補講を行う他、補習の方法を含めたシラバス（授業概要）を学生に配布する。授業時間には遅刻せず、授業には常に出席しなければならない。

### 2 履修義務

各学期22単位以内で履修科目を登録する。この範囲を越える履修には、学部長と教務部の文書による許可を必要とする。

### 3 履修科目登録と変更

履修科目登録および変更期間は年間行事日程に従う。履修登録に必要な書類等は教務部より各個別指導教員に事前に配布される。

学生は履修計画案を作成し、個別指導教員よりカウンセリングおよび登録科目の承認を受けた後、履修登録期間中に教務部に提出する。この期間に履修計画を提出しなかった学生は、定員数に余裕のあるクラスに登録される。授業で効果的な指導が行えるよう配慮されるため、通常クラス定員数には自ずと制約がある。

各学期授業開始第 1 週目は履修科目変更（DROP／ADD）の期間とする。教務部は履修科目変更の調整を学生と行う。

履修科目変更は、以下の要領で行う。

- ① 履修科目変更届用紙を教務部で受け取る。
- ② ~~個別指導教員~~、当該科目担当教員（変更前、変更後の両教員）、ならびに教務部より履修科目変更の許可を受ける。
- ③ 履修科目変更期間内に教務部に変更用紙を提出し、届出を完了する。

履修科目登録変更期間を過ぎて発生した変更科目については、成績表には登録科目として科目名称は記されたままとなる。

#### 4 履修科目の辞退

履修科目変更期間終了後から、各学期における中間試験後 1 週間以内（締切日は教務部より通知される）はペナルティーなしに辞退することができる。その場合、W（辞退）が成績表に記される。「辞退」とは教務部に履修科目辞退届（教務部より受け取ること）を提出してのみ認められるもので、授業の欠席、期末試験を受けない等の行動は「辞退」とは認められない。

#### 5 成績評定及び評定平均

各学期末に成績通知書が教務部から保護者に送付される。成績通知書には、各科目の評定のほかに、1 学期ごとの評定平均値(GPA)と、それまでに履修したすべての科目の加算評定平均値(Cumulative GPA)とが記載される。GPA は各科目の評価点とその単位数の（例えば 4 単位の科目で A 評定の場合は 16 点、2 単位の科目で B 評定の場合は 6 点となる。）を全登録科目にわたり合算し、登録科目の単位数で除したものである。ただし、GPA には A, B, C, D, F の評定のみが算入される。評定とそのポイントは以下のとおりである。

評定	(1 単位あたりの)評価点
A（秀）(100-90 点)	4
B（優）(89-80 点)	3
C（良）(79-70 点)	2
D（可）(69-60 点)	1
F（不可）(59 点以下)	0（再履修により除去できない。）
P（合格）	単位のみ修得の場合
X（未修得）	単位未修得の場合
O（履修中）	通年科目を履修中の場合
I（未評価）	教員が最終の評価を行えない場合
W（辞退）	中間試験後 1 週間以内に自ら科目辞退した場合(再履修により除去できない。)
R（強制辞退）	学期末試験までに当該科目担当教員から科目辞退させられた場合(再履修により除去することも可能)

N（認定）	本学で履修のうえ修得した単位以外で本学が認定した単位
SC(海外研修用代替科目)	海外研修用代替科目として履修のうえ修得した単位

## 6 未評価

健康上もしくは家庭上の問題等、不可抗力により授業や課題を修了できなかった場合、I(未評価)の評定がなされる。未評価を申請するには当該科目担当教員の承認が必要である。教務部の指定する期日までに未評価の手続きを済ませること。未評価科目の課題等を翌学期開始後1ヶ月以内に終了し、当該科目担当教員に提出することにより、未評価(I)は正式評定に変更される。しかしながら翌学期開始後、1か月以内に、教員より教務部に成績の提示がない場合には、F(不可)評定となる。課題の提出期間延長は特別な場合に限り、学部長が例外を認めることもある。未評価の評定を受けている学生はその学期には学部長リストの対象とはならない。

## 7 評定への異議申し立て

一度評定された成績は、事務上又は記載上の誤りによるもの以外、学部長の承認なしに当該科目担当教員によって変更されることはない。

最終評定に対し異議申し立てのある学生は、まず当該科目担当教員と相談すること。そこで異議が解決しない場合には、評定の通知から30日以内に再考請求申立書を学部長に提出できる。学部長もしくは学部長に指名された者により再検討がなされ、適当と思われる場合には、学部長から当該科目担当教員に評定再検討の依頼が行われる。ただし、評定決定の最終権限は当該科目担当教員にある。

## 8 「教育的観察」(Probation)及び退学

下記の各号のいずれかに該当する学生には翌学期「教育的観察(Probation)」が適応される。

- ・総 GPA が 2.0 未満の者
- ・その学期の、あるいは総合の GPA が 1.5 未満の者
- ・海外研修を修了しなかった者

自主研究科目及び海外研修科目の評価は GPA に算入されない。

3 学期続けて「教育的観察」(Probation)の記載がなされた学生及び評定平均値(GPA)が 1.5 を下回る学生に対しては、次学期も「教育的観察」とする。

## 9 進級

進級及び海外研修への参加は、下記の修得単位の基準を満たす者にのみ許可される。

年次等	必修要件	
海外研修	1 年生終了時において、原則として 26 単位以上	原則として専門教育科目を履修するためには、基礎教育科目の履修要件を満たさなければならぬ。全ての学生は TOEIC を受験しなければならない。また、英語の習熟度要件を満たさない学生
3 年次	52 単位以上	
4 年次	87 単位以上	

		の進級は原則として認めない。
--	--	----------------

なお、原則として、次年次の科目を履修する前に、未履修科目をすべて修了しなければならない。

3 年次へ進級するには、TOEIC 500 点、TOEFL 450 点、TOEFL CBT 133 点、または TOEFL iBT 45 点以上（英語の習熟度要件）を取得しなければならない。ただし、英語の習熟度要件を満たさない学生は、学部が別に指定する科目を受講し、卒業までに、TOEIC 500 点、TOEFL 450 点、TOEFL CBT 133 点、または TOEFL iBT 45 点以上を取得しなければならない。

**第 9 条** 次の各号に該当するものは公認欠席（以下「公欠」という）とする。公欠は、出席すべき授業実施数から減じる。

- ① 実習等について（関係者：学生教職支援センター）
- ② 就職試験及びそれに準ずるもの（関係者：キャリア教育センター）
- ③ 学校保健安全法（インフルエンザ等）による出席停止の場合（関係者：学生部）
- ④ 天災（洪水、地震等）に被災した場合（公共交通機関の遅れを含む）
- ⑤ 文化及び体育等の課外活動への参加を学部長が認めた場合
- ⑥ その他やむを得ない事情と学部長が認めた場合

- 2 ①②の場合は、事前に公欠・忌引届に関係者の認印を受け、次に授業科目の担当教員の認印を得て、教務部へ提出することとする。やむを得ず提出が遅れた場合でも 2 週間以内に届け出ること
- 3 前項③の場合は医師の診断書を添えて、教務部へ提出すること。ただし、インフルエンザの場合はそれに準じた書類（処方箋等）も可とする。

**第 10 条** 忌引は、出席すべき授業実施数から減じる。公欠・忌引届を 2 週間以内に教務部に届け出なければならない。その手順は、最初に授業科目の担当教員の認印を得て、教務部へ提出することとする。

- 2 公欠・忌引届には、会葬礼状等を添えることとする。
- 3 次の連続した日数（土日休祝日を含む。遠距離の場合は下の日数に往復の日数を加算する）を認める。

親・配偶者 7 日、子 5 日、祖父母・兄弟姉妹 3 日、伯父伯母・叔父叔母・曾祖父母 1 日

**第 11 条** 高等教育コンソーシアム宮崎及び単位互換

宮崎国際大学は高等教育コンソーシアム宮崎のメンバーである。本学の学生は同コンソーシアムに参加している機関において、以下の科目を履修しその単位の認定を受けるべく、その許可申請を本学教務部に提出することができる。

・ 道德教育 ・ 日本国憲法 ・ 健康の科学

これらの科目は、本学の時間割上それらの履修が難しいとみなされる以下の場合にのみ、その履修が許可されるものである。

- ・通常より遅れて教職課程を履修し始めたとき
- ・本学で同科目を以前履修したが、不合格となったとき
- ・病気など、その他特別な事情があるとき

これらの科目の他大学での履修を希望する学生は、授業開始後第1週目の終わりまでに、その科目の講義概要の写しを学部長及び教職課程担当責任者に提出しなければならない。学部長及び教職課程担当責任者は、講義概要の内容を確認した上で、学生がその科目を履修し、単位を取ることができるかの判断をする。学期終了後、他大学で該当科目を履修した学生は、その履修した科目内容を示すポートフォリオを提出しなければならない。本学がその科目内容が本学の求める質の基準を満たしているかどうかについての評価をする参考資料とするためである。

**第12条** この規程の改廃は、教授会の意見を聴いて学長が行う。

附則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附則  
この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。  
附則  
この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

### 3. School of International Liberal Arts Course Regulations

**Article 1.** The course of study shall be governed by the regulations herein as well as the University Rules.

2 The curriculum shall be based on the semester system.

**Article 2.** The types of courses shall be classes and practical training. The standard for calculating credits is 15 hours of class work for one credit. In the case of practical training, one credit shall consist of 30 hours. The classifications and types of class subjects shall be as follows.

General Education Courses	Free Elective Courses
Language Courses	Senior thesis
Career Education	Independent Study Courses
Study Abroad	Authorized Courses
Specialized Education	

The School of International Liberal Arts offers four courses: the Global Liberal Arts Course, the International Business Management Course, the Hospitality and Tourism Management Course and the English Education Course, and students must decide on their course of study by submitting the designated form “Course Selection/Change Application Form” by the start of the second semester of their first year. If they want to change their course of study at the end of their second year, they also need to turn it in as well as consult with their academic advisor in advance.

In the Global Liberal Arts Course, English is the language of instruction for all subjects except Japanese Language, Japanese Studies, Career Education, and Independent courses. In the first year, General Education courses (with some exceptions) are taught by a teacher in charge of the subject and a teacher in charge of English. In the International Business Management Course, Hospitality and Tourism Management Course and English Education Course, either Japanese or English is used as the language of instruction, depending on the subject.

For third-year transfer students in General Education courses, language courses, and courses for overseas study, credits that can be granted for courses acquired at other universities must be within the scope of the curriculum for the first and second years of study at the University and correspond to the educational content of the University. In cases where the number of credits is less than the required 68 credits, the dean of the school, in consultation with the Curriculum Committee, will decide on a course of study to fulfill the missing credits.

In the third and fourth year, when students participate in an educational program at an institution located

overseas with permission from the University, such as an exchange program, the credits for the courses approved in advance by the Dean will be approved as credits for specialized education courses at the University.

## 1 General Education Courses

Students must complete four General Education courses (10 required credits) from among the General Education courses listed below, Introduction to Global Education in the School of International Liberal Arts of the University Rules. In "Multi-Languages and Cultures," multiple courses in languages and cultures are offered, and students must take one of these courses during their first through fourth years of study. (Note: Some courses may not be offered depending on the faculty members' assignments from year to year.)

The number of credits required for graduation in the General Education courses of each course is shown below. In the following table, classes are conducted in English if not marked (Japanese).

- In the Global Liberal Arts course, students must earn at least 10 credits from the humanities, social sciences, general sciences, study of social issues and contemporary Japanese arts and culture, and at least 20 credits from General Education courses overall.
- In the International Business Management Course and the Hospitality and Tourism Management Course, students must acquire at least 22 credits from General Education courses, including 12 credits (required) in Introduction to Marketing (Japanese), Introduction to Modern Business Theory (Japanese), Introduction to General Business Practice 1-2 (Japanese), Introduction to Tourism, and Event Planning and Marketing.
- ~~• In the Hospitality and Tourism Management course, students must earn at least 20 credits from General Education courses, including 12 credits (required) in Introduction to Marketing (Japanese), Introduction to Modern Business Theory (Japanese), Introduction to General Business Practice 1-2 (Japanese), and Introduction to Tourism.~~
- In the English Education Course, students must acquire at least 26 credits from General Education courses in order to graduate. However, in order to obtain a teaching license, students must acquire all courses (29 credits) listed in the appendix below, General Education Courses "English Education" of the School of International Liberal Arts in the University Rules.

General Education Courses	number of credits			Required credits for graduation
	required	elective compulsory	elective	
<b>Introduction to Global Education</b>				10 credits  Including 2 credits from courses with a
Freshman Seminar	2			
Introduction to Global Citizenship	2			
Fundamentals of Information Science 1	2			
Fundamentals of Information Science 2	2			
<b>Multi-languages and Cultures</b>				

Chinese Culture and Language		2☆		☆
Central and South American Culture and Language		2☆		
Canadian Culture and Language		2☆		
Polish Culture and Language		2☆		
Filipino Culture and Language		2☆		
Australian Culture and Language		2☆		
British Culture and Language		2☆		
American Culture and Language		2☆		
German Culture and Language		2☆		

General Education Courses	number of credits			Required credits for graduation
	required	elective compulsory	elective	
General Sciences				At least 10 credits from Humanities, Social Sciences, and General Sciences for the Global Liberal Arts Course
Introduction to Natural/ Life Sciences			2	
Introduction to Mathematical Thought			2	
Humanities				
Introduction to Art History			2	
Introduction to Religion			2	
Introduction to Philosophy			2	
introduction to Literature			2	
Introduction to History			2	
English Language Lab. 1			2	
English Language Lab. 2			2	
Social Sciences				
Introduction to Anthropology			2	
Introduction to Economics			2	
Introduction to Political Science			2	
Introduction to Psychology			2	
Introduction to Sociology			2	
Study of Social Issues				At least 6 credits from Social Issues and Contemporary Japanese Arts and Culture
Understanding Cross-Cultural			2	
International Social Issues			2	
Comparative Political Issues			2	
Issues in Human Relationships			2	
Modern Design			2	
Contemporary Japanese Arts and Culture				
Japanese Popular Culture			2	
Japanese Art			2	
Japanese Photographic Expression and Methods			2	
Business Management				○ courses required for
Introduction to Marketing (Japanese)	2○☆			
Introduction to Accounting 1 (Japanese)			2	



Introduction to Accounting 2 (Japanese)			2	International Business Management  ☆courses required for Hospitality and Tourism Management
Introduction to Bookkeeping (Japanese)			2	
Introduction to Modern Business Theory (Japanese)	2○☆			
Introduction to General Business Practice 1 (Japanese)	2○☆			
Introduction to General Business Practice 2 (Japanese)	2○☆			
Introduction to Management Strategies (Japanese)			2	
<b>Hospitality and Tourism.</b>				
Introduction to Tourism	2○☆			
SDGs in Tourism			2	
Event Planning and Marketing	2○☆		2	

General Education Courses	number of credits			Required credits for graduation
	required (subject)	elective compulsory	elective	
<b>English Education</b>				29 ◎ credits (required courses)
Linguistics for English Learning	2◎			
Literary Studies for English Learning	2◎			
Phonology for English Pronunciation Instruction	2◎			
English Literature A	2◎			
English Literature B	2◎			
Introduction to the Teaching Profession (Japanese)	2◎			
TC English	2◎			
Principles of Education (Japanese)	2◎			
Health Science (Japanese)	1◎			
Physical Education (Japanese)	1◎			
Constitution of Japan (Japanese)	2◎			
Structure of the Educational Curriculum (Japanese)	2◎			
The Educational System (Japanese)	2◎			
Second Language Acquisition 1	2◎			
ICT in Education	1◎			
Cross-Cultural Understanding for English Learning	2◎			

## 2 Language Courses

Students in the Global Liberal Arts, International Business Management, and Hospitality and Tourism Management courses must earn at least 24 credits in language courses, while students in the English Education course must earn at least 12 credits.

Fall admission students and students with high English proficiency at the time of admission may earn 4 credits in English language courses based on their performance in the knowledge and skills assessment (TOEIC score of 500 or equivalent). These 4 credits will be applied to graduation credits.

Language Courses (Global Liberal Arts, Hospitality and Tourism Management and International Business Management courses)	number of credits			Required credits for graduation
	required (subject)	elective compulsory	elective	
Communication English 1	4			24 credits

Communication English 2	4			
Communication English 3	4			
Academic English 1	4			
Academic English 2	4			
Academic English 3	4			

Language Courses (English Education Course)	number of credits			Required credits for graduation
	required	elective compulsory	elective	
Communication English 1			4	12 credits or more
Communication English 2			4	
Communication English 3			4	
Academic English 1	4			
Academic English 2	4			
Academic English 3	4			

For language courses (Japanese), Japanese students must acquire 6 credits from "Japanese Expression 1-3". International and returnee students must acquire at least 6 credits from **Japanese 1-6" including the required course of "Japanese 4."**. Proficient students may take Japanese Expression.

Language Courses (Japanese)	Number of credits			Required credits for graduation
	required	elective compulsory	elective	
Japanese Expression 1		2☆		6 credits from ☆ for Japanese students
Japanese Expression 2		2☆		
Japanese Expression 3		2☆		
Japanese 1		3◎		Classes assigned by level of achievement International students must take at least 6 credits from ◎. However, "Japanese 4" is compulsory. In addition, students with high Japanese proficiency may take "Japanese Expression 1-3".
Japanese 2		3◎		
Japanese 3		3◎		
Japanese 4	2◎			
Japanese 5		2◎		
Japanese 6		2◎		

### 3 Career Education Courses

In "Career Design 1-3," students are encouraged to look at themselves, explore the human condition and way of life, and develop the abilities necessary for social and professional independence by acquiring a desirable view of work and occupation. Students may receive credit for "Career Activities" if they have participated in at least 30 consecutive hours of internship or at least 30 hours of volunteer activities. For details, please refer to "Career Activities" (available at the Academic Affairs Section).

Career Education Courses	Number of credits			Required credits for graduation
	required	elective compulsory	elective	
Career Design 1 (Japanese & International Students)	2			
Career Design 2	2			
Career Design 3	2			
Career Design 2F (International Students)	2			
Career Design 3F (International Students)	2			
Career Activities			1	
Natural Disasters and Prevention			2	

#### 4 Study Abroad

All students (except transfer students) will participate in study abroad in the second semester of their second year. Students may participate in (1) a prescribed program in an English-speaking country or at a college where English is the language of instruction, or (2) an intensive program offered by the University if traveling abroad is not feasible. The number of credits for study abroad is as follows: Second Language (6 credits), Independent Study (2 credits) (the theme will be decided in consultation with the instructors at the study abroad site), and Area Studies (6 credits), for a total of 14 credits.

However, the English Education Course requires students to take only Area Studies (6 credits), which includes pre- and post-guidance, with the study abroad period being approximately one month.

Study abroad	Number of credits		Required for graduation.
	required	elective	
Second Language	6		14 credits
Independent Study	2		
Areas Studies	6		

In the case of accreditation of credits earned at an overseas Institution through the University's exchange program, the evaluation shall be recorded as "N (approved)". Students who wish to receive this certification must submit a "Request for Permission to Study at an Overseas College in the Third or Fourth Year". However, this does not apply to English, Japanese Expression, and General Science courses.

#### 5 Specialized Education Courses

- In the Global Liberal Arts course, students must earn at least 30 credits from among the Specialized Education Courses in the School of International Liberal Arts in appendix below, including at least 10 credits from the Humanities, 10 credits from the Social Sciences, and 10 credits from Interdisciplinary Studies.
- In the International Business Management Course, students must acquire at least 30 credits from the Specialized Education Courses listed in appendix below, including 10 credits from the required

courses of "Microeconomics," "Macroeconomics," "ICT Integrated Practice," "Practical Business Exercises 1" and "Practical Business Exercises 2."

- In the Hospitality and Tourism Management Course, students must acquire 30 credits or more from the Specialized Education Courses listed in appendix below, including 10 credits from the required courses of "ICT Integrated Practice," "Tourism Industry," "Hospitality Management," "Tour Operator and Travel Agency Operator," and "Marketing in Hospitality and Tourism Business."
- The number of credits required for graduation from the English Education Course is 62 or more. However, in order to obtain a teaching license, students must earn 46 credits or more, including 26 credits of required courses and 8 credits of elective courses in the "Specialized Education Courses for English Education".

Specialized Education Courses		required	elective compulsory	elective	Required for graduation
Humanities	<b>Art</b>				10 credits or more for the Global Liberal Arts course
	Art and Society			2	
	Topics in International Art			2	
	<b>Language and Literature</b>				
	World Literatures in English			2	
	Japanese literature			2	
	Comparative literature			2	
	Topics in Linguistics			2	
	British Literature			2	
	American Literature			2	
	Chinese Studies			2	
	Korean Studies			2	
	<b>Philosophy and Religion</b>				
	Logic			2	
	Philosophy East and West			2	
	Ethical Theory			2	
	European Intellectual History			2	
	Religion and Contemporary Society			2	
	<b>History</b>				
	Japanese History			2	
	Modern World History			2	
	Comparative History			2	
	Early Modern Europe			2	
	Topics in History and Historiography			2	
Social science	<b>Anthropology</b>				10 credits or
	World Ethnography			2	
	Topics in Anthropology			2	
	<b>Political science</b>				

	Comparative Foreign Policy			2	more for the Global Liberal Arts course
	World Politics			2	
	<del>—International Political Economy</del>			<del>2</del>	
	Psychology				
	Topics in Mental Health			2	
	Developmental Psychology			2	
	Counseling Psychology			2	
	Topics in Psychology			2	
	Positive Psychology			2	
	Sociology				
	Contemporary Social Theory			2	
	Japanese Society			2	
	Topics in Sociology				
	Politics and Society in the European Union			2	

Interdisciplinary Studies	Research Methods 1 Data Collection			2	10 credits or more for the Global Liberal Arts course
	Research Methods 2 Data Analysis			2	
	Foundations of Global Studies 1			2	
	<del>Foundations of Global Studies 2</del>			<del>2</del>	
	Conflict and Peace Studies			2	
	English Through Presentation and Debate			2	
	International Relations			2	
	Introduction to Artificial Intelligence			2	
	Introduction to Data Science			2	
	Introduction to Information and Communication Networks			2	
	General Botany			2	
	The Global Environment			2	
	Presentation and Public Speaking			2	
	Modern Photography			2	
Business Management	Micro-economics	2 ○			○ is a required course for the International Business and Management course  ☆ is a required course for the Hospitality and Tourism Management course
	Macro-economics	2 ○			
	Business Administration			2	
	International Trade			2	
	International Business			2	
	ICT Integrated Practice	2 ○☆			
	Economics of Development			2	
	Economy of Japan			2	
	Economics Topics			2	
	Investment Management			2	
	Corporate Finance			2	
	Studies in Entrepreneurship			2	
	Business English			2	
	Business Japanese 1 (International Students)			2	

	Business Japanese 2 (International Students)			2	
	Practical Business Exercises 1	2 ○			
	Practical Business Exercises 2	2 ○			
	Practical Business Exercises 3	<del>2</del> ⊕		2	
	Internship			2	
Hospitality and Tourism Management	Tourism Industry	2 ☆			
	Tourism English			2	
	Introduction to Tourism Informatics			2	
	Hospitality Management	2 ☆			
	Tour Operator and Travel Agency Operations	2 ☆			
	Marketing in Hospitality and Tourism Business	2 ☆			
	Tourism in the Digital Age			2	
	Digital Transformation in Tourism			2	
	Regional Cultures of Japan 1			1	
	Regional Cultures of Japan 2			1	
	Regional Cultures of Japan 3			1	
	Regional Cultures of Japan 4			1	
	Regional Issues Seminar			1	
English Education	※Special Activities (Japanese)	2 ●			※Starts in the fall semester of the 2 <sup>nd</sup> year  ● is a required course for English education courses  2 subjects from ◎. 1 subject from ☆. 1 subject from ◇.  △ / □ is a required course for a teaching license
	※English Teaching Methodologies 1 (Japanese)	2 ●			
	※Second Language Acquisition Theory 2	2 ●			
	※North American Thought and Culture		2 ◎		
	※British Thought and Culture		2 ◎		
	※Educational Technologies and Techniques of Communication	2 ●			
	English Linguistics 1	2 ●			
	English Linguistics 2	2 ●			
	Understanding English Literature		2 ☆		
	English Literature Analysis 1		2 ☆		
	Language Assessment			2	
	English Teaching Methodologies 2	2 ●			
	English Teaching Methodologies 3	2 ●			
	English Teaching Methodologies 4	2 ●			
	Academic Speaking for Instruction	2 ●			
	Academic Writing for Instruction	2 ●			
	Multicultural Awareness	2 ●			
	Moral Education (Japanese)			2 △	
	Teaching Methods in Comprehensive Study Time (Japanese)			1 △	
	Theories and Methods of Student Guidance			1 △	
	Educational Counseling (Japanese)			2 △	
	Educational Psychology	2 ●			

	Home Care Practicum (Japanese)	<del>2</del> ●		2	
	Pre- and Post-Practicum (Japanese)			1 □	
	Teaching Practicum IAA(Japanese)			4 □	
	Teaching Practicum IB (Japanese)			2 □	
	Practical Applications in Teaching Profession (JHS/HS)			2 □	
	English Expression as a Language of Instruction	2 ●		<del>2</del>	
	Introduction to Special Education	2 ●			

### Global Leadership Program

Students who wish to complete the Global Leadership Program and earn a certificate of completion must earn the credits listed in the table below in addition to the regular graduation requirements and participate in an internship as specified separately.

#### Global Leadership Program Courses

Courses	number of credits		remarks
	required	elective	
Comparative Foreign Policy	2◎		2 credits from ◎ 2 credits from ☆, each required
International Relations	2◎		
Logic	2☆		
Ethical Theory	2☆		
Comparative History		2	
<del>Theories of Communication in International Business</del>		<del>2</del>	
Foundations of Global Studies <del>↓</del>		2	
The Global Environment		2	
Conflict and Peace Studies		2	

### 6 Free Elective Courses

Free electives are courses that can be taken from among the courses offered by the University, regardless of the classification and type of course.

In addition, courses taken at other universities (approved courses) and courses offered by SPARC may be counted toward the required graduation credits as free electives.

In the 3rd and 4th year, when a student receives permission from the University to study at another institution, the courses taken will be recorded as specialized education courses taken at the University and the student will be allowed to earn credits for them. All courses taken at the host institution must be approved in advance by the University in accordance with the "Request for Approval of Program of Study at an Overseas or Domestic College in the 3rd or 4th Year".

### 7 Senior Thesis

The Senior Thesis is prepared under the guidance of a Senior Thesis advisor. The Senior Thesis advisor is determined by the end of the first semester of the third year. The Senior Thesis is a required

course carrying 6 credits, and the requirements for the thesis are as described in Article 7 of the Course Regulations.

## **8 Optional Courses**

Credits earned from optional courses are to be accredited, but they cannot be graduation credits.

Special readings courses are taught via individual instruction or as seminars, while physical education, pre- and post-practicum, and the teaching practicum are practical training.

## **9 Credits**

### **(1) Calculation criteria**

As a general rule, one credit requires 15 weeks (at least 45 minutes per week) of instruction. One credit for practicum courses requires 15 weeks (at least 135 minutes per week).

### **(2) If a student admitted to the university has already earned credits at other universities or junior colleges, those credits may be deemed to be credits earned at the university, not to exceed 30 credits, upon the approval of the Faculty Council.**

The number of credits to be counted toward the University's grade evaluation and conformity to the University's graduation requirements will be determined by the Dean after consultation with the Curriculum Committee. When credits earned at other universities or junior colleges are approved, the grade will be recorded as "N (approved)". When a student has completed an accredited course in an exchange program, the grade will be recorded as "P" (Pass). Multiple "N" courses can be approved.

**Article 3** Students shall acquire a total of 124 credits or more as graduation requirements as follows. The "number of credits required for graduation" for each course is as follows.



Number of credits required for graduation in the Global Liberal Arts Course		
Classification	Required for graduation	Remarks
General Education Courses	20 credits or more	At least 20 credits from General Education courses, including 10 credits from Introduction to Global Education (required), at least 10 credits from Humanities, Social Sciences, and General Sciences, Study of Social Issues and Contemporary Japanese Art and Culture.
Language Courses	30 credits	required
Career Education	6 credits or more	required
Study abroad	14 credits	required
Specialized Education Courses	30 credits or more	Specialized Education Courses: Earn at least 10 credits from Humanities Specialized Education Courses: Earn at least 10 credits from Social Sciences Specialized Education Courses Earn at least 10 credits from Interdisciplinary Studies, Business Management, and English Education
Free Elective Courses	18 credits or more	
Senior thesis	6 credits	required (subject)
Total credits earned	124 credits or more	

Number of credits required for graduation in the International Business Management		
Classification	Required for graduation	Remarks
General Education Courses	22 credits or more	At least 22 credits from General Education courses, including 10 credits from Introduction to Global Education (required) and 12 credits from required Business Management courses
Language Courses	30 credits	required
Career Education	6 credits or more	required
Study abroad	14 credits	required
Specialized Education Courses	30 credits or more	Earn 10 credits from required business management courses At least 20 credits from other specialized education courses
Free Elective Courses	16 credits or more	
Senior thesis	6 credits	required
Total credits earned	124 credits or more	

Number of credits required for graduation in the Hospitality and Tourism Management Course		
Classification	Required for graduation	Remarks
General Education Courses	22 credits or more	At least 22 credits from General Education courses, including 10 credits from Introduction to Global Education (required) and 12 credits from required Business Management courses
Language Courses	30 credits	required
Career Education	6 credits or more	required
Study abroad	14 credits	required
Specialized Education Courses	30 credits or more	Earn 10 credits from required Business Management courses and Hospitality and Tourism Management courses At least 20 credits from other specialized education courses
Free Elective Courses	16 credits or more	
Senior thesis	6 credits	required
Total credits earned	124 credits or more	

Number of credits required for graduation in the English Education Course			
Classification	Required for graduation	Number of credits required for licensure	
General Education Courses	26 credits or more	39 credits	Earn 10 credits from Introduction to Global Education (required course) and 29 credits from required courses in "English Education"
Language Courses	18 credits		required
Career Education	6 credits or more		required
Overseas Training	14 credits		required
Specialized Education Courses	54 credits	49 credits	Earn 49 credits from 30 required English education courses and 8 credits from elective required courses
Senior thesis	6 credits		required
Total credits earned	124 credits or more	129 credits or more	

**Article 3-2** Students who do not meet the English proficiency requirement must submit an application to the Office of Academic Affairs at the beginning of the fall semester of 3rd year as "Students Not Belonging to a Course" and earn at least 20 credits from specialized education courses after consultation with the Dean and the Director of Academic Affairs. In addition, students must obtain a TOEIC score of 500, TOEFL score of 450, TOEFL CBT score of 133, or TOEFL iBT score of 45 or higher before graduation.

**Article 4** Class schedules shall be prepared in accordance with the requirements established by the Academic Affairs Office after discussion by the Faculty Council.

**Article 5** The procedures for registering for courses and changing courses are as follows.

(1) Course Registration

After consulting with their academic advisor, students complete a Course Registration Form and submit it to the Academic Affairs Office. Registration is determined based on class availability in order to maintain class size in accordance with the University's educational policy.

(2) Course Registration Form Submission Period

Documents to be submitted will be distributed to students in advance, and students will be fully informed of the submission deadlines.

(3) Change of course registration

Changes in course registration shall only be permitted within one week of the beginning of each semester (course drop/add period). In such cases, students may only add courses for which space is available. Students who wish to change their course registration (withdraw from or add a course) must submit the prescribed course change form with the signatures of the instructor(s) in charge of the course ~~and their academic advisor~~ to the Academic Affairs Office to receive permission to change courses.

**Article 6** Examinations shall be conducted and graded as follows.

(1) Examinations

Examinations include final exams, irregular quizzes, and other forms of assessment. The University's policy on academic integrity as it applies to exams and assignments is described in detail in the Student Bulletin. Instructions for taking examinations are given at the examination venue on a case-by-case basis.

(2) Final examinations

The final exam will be based on an overall evaluation of the sum of the scores of written, oral, or visual reports, or class presentations. Reports or class presentations may be conducted on an individual basis or as a group. Final examinations are due at the end of the final examination period.

(3) Additional examinations

If a student is unable to take the final examination for a valid reason, he/she may submit a petition for a follow-up examination. This request must be accompanied by a doctor's certificate in the case of illness, or a certificate from the Career Education Center in the case of a job interview/examination, and submitted to the instructor in charge. No additional examinations will be given without the permission of the Dean.

(4) Results

Grading at the University is stipulated in the school regulations and clearly stated in the Student Bulletin.

**Article 7** All students shall submit a Senior Thesis as part of their graduation requirements. The Senior Thesis is normally prepared under the guidance of a Senior Thesis advisor.

## 2 Registration for Senior Thesis

At the end of the first semester of the third year, students are briefed on the Senior Thesis process, and after an interview with the faculty members of their choice, an academic advisor is assigned. The content of the Senior Thesis should be mainly related to the content of the studies for their courses in the third and fourth years. Selection of the theme shall begin in the first semester of the third year.

## 3 Submission of research project and research plan for Senior Thesis

Student shall submit the subject matter, research plan and its outline to their Senior Thesis advisor. Such subject matter, research plan and outline shall be prepared in the separately prescribed format. The subject matter, research plan and outline, which has been approved by the faculty advisor, must be submitted to the Academic Affairs Division by the deadline specified in Item 9 of this Article. These procedures are intended to ensure that the research plan and outline clearly records the main research scope, plan of practice, contents to be investigated, and research methods.

## 4 Advising and report submission

The Senior Thesis advisor must advise students for writing the thesis in accordance with their progress as well as manage their attendance every week. He/She also need to submit a report to the Academic Affairs Office on the progress of all students assigned to him or her over the third and fourth years.

## 5 Submission of Senior Thesis

All students must submit the original completed Senior Thesis, with the Senior Thesis submission form attached, to the Academic Affairs Division by the final deadline specified in Item 9 of this letter (or the following day if that day is a holiday or national holiday).

## 6 Format of Senior Thesis

The text of the thesis shall be written in English. For citations, the language of the references may be used, but must be accompanied by an English translation. The format of the thesis shall be based on the style and printing standards established by the Division of Academic Affairs.

The research topic of the thesis should be in line with the educational policy and various themes of their courses in the School of International Liberal Arts in the broadest sense, and the word count of the text should, in principle, be more than 4,000 words. The format of the thesis should be appropriate to its research topic, area, and research design. In order to assist students in selecting and narrowing down their research topics and research plans, Senior Thesis advisors should plan and conduct seminars for oral presentations on a regular basis.

## 7 Evaluation of graduation theses

All graduation theses will be evaluated by the senior thesis advisor through a peer review of the thesis, and an individual oral presentation and oral examination at the graduation thesis presentation for each course. The senior thesis advisor submits the evaluation results to the Academic Affairs Office by January 30th (or the following day if that day is a holiday). As with other subjects, the grades will be A "Excellent," B "Good," C "Good," D "Fair," or F "Fail." These will be evaluated based on a rubric that will be distributed

separately.

The “best” award will be selected from among the theses that receive grade of "excellent." In such cases, the grade of "A" will be given and "Highest Honors" will be noted on the transcript.

Fourth-year students who do not submit a completed Senior Thesis by the deadline specified in the Senior Thesis regulations will not be permitted to graduate in that year. An "X" (no credits earned) will be given for the Senior Thesis. The student will be ineligible for graduation unless he/she has been enrolled at the University for at least one additional semester and has completed the thesis by the deadline specified in the thesis regulations for the following year.

#### 8 Credit for Senior Thesis

Those that pass with a grade of D (acceptable) or better are awarded 6 credits that count toward graduation credits. In the second semester of the third year, students usually register for two credits of "Senior Thesis 1" and receive a "P" on their transcript as fulfillment of the specified requirements. Students register for the year-long "Senior Thesis 2" course in the fourth year, for which 4 credits are earned for an appropriate grade after completion of the thesis.

#### 9 Schedule

Students are required to complete their senior thesis according to the following schedule.

Requirement		Deadline
1	Selection of supervisor	July 3
2	Proposed subject matters, research project and outline (to be submitted to your academic advisor and the Academic Affairs Office)	Oct 15
3	Senior thesis title, research plan and reference section (Submit to academic advisor)	Nov 15
4	Research topic and proposal or abstract (to be submitted to academic advisor)	Dec 15
5	Submission a report of “Senior Thesis 1” (to be submitted to both academic advisor and Academic Affairs Office)	Jan 31
6	Submission a report of “Senior Thesis 2” (submitted to both academic advisor and Academic Affairs Office)	July 31
7	Submission of Senior Thesis (to supervisor)	Jan 10
8	Evauation of Senior Thesis (to be submitted to Academic Affairs Office)	Jan 30

#### Article 8 Class Attendance

Attendance at all classes is expected. The success of active learning in the University's educational programs depends on students' active, uninterrupted participation in classes. Therefore, students are required to attend all classes and practical training in order to improve their grades.

The University strongly encourages students to attend classes in a variety of ways. Students who are

absent will be asked to make up work. Faculty will provide make-up classes and distribute a syllabus (class outline) to students that includes instructions on how to make up work. Students are expected to be on time for class and to attend class at all times.

## 2 Academic load

Students may register for no more than 22 credits each semester. Students who wish to take courses beyond this limit must obtain written permission from the Dean and the Academic Affairs Office.

## 3 Course registration and changes

Course registration and change periods follow the annual schedule. Documents required for course registration will be distributed in advance to each individual advisor by the Registrar.

Students must prepare a proposed schedule of classes, obtain counseling and registration approval from their academic advisor, and submit their request to the Registrar during the registration period. Students who do not submit their proposed schedule of classes during this period will be placed in classes that have space available. Class sizes are naturally limited to ensure effective instruction in the classroom.

The first week of classes of each semester is the DROP/ADD period. The Registrar will work with students to change courses.

Course changes shall be made in accordance with the following procedures.

- ① Obtain a Drop/Add form from the Academic Affairs office.
- ② Obtain permission to change courses from the faculty member in charge of the course (before and after the change) and the Registrar.
- ③ Submit the Drop/Add form to the Registrar within the Drop/Add period to complete the notification.

Courses that are changed after the Drop/Add period will remain listed as registered courses on the transcript.

## 4 Withdrawing from a course

Students may withdraw from a course without penalty from the end of the Drop/Add period to within one week after the midterm examination in each semester (the deadline will be notified by the Academic Affairs Office). In such cases, a "W" (Withdrawal) will appear on the student's transcript. "Withdrawal" is only permitted by submitting a Course Withdrawal Form (available from the Academic Affairs Office) to the Registrar, and is absence or failure to take the final exam will not be considered "withdrawal".

## 5 Grading and grade point average

At the end of each semester, a grade report is sent to a guarantor from the Academic Affairs Office. In addition to the grade for each course, the grade report includes the grade point average (GPA) for the semester and the cumulative GPA for all courses taken up to that point. A grade of A in a 4-credit course is worth 16 points, while a grade of B in a 2-credit course is worth 6 points.) The GPA is calculated by adding up all registered courses and dividing by the number of credits in the registered courses. However,

only grades of A, B, C, D, and F are counted toward the GPA. Grades and their points are as follows.

Evaluation	Evaluation points (per unit)
A (Excellent) (100-90 points)	4
B (Above Average) (89-80 points)	3
C (Average) (79-70 points)	2
D (Below Average) (69-60 points)	1
F (Fail) (59 points or below)	0 (Cannot be removed by retaking the same class)
P (Pass)	Completed credit/no credit course
X (No Credit)	Student received no credit (does not count in GGPA)
O (Ongoing Work)	Grade given for a continuing course
I (Incomplete)	Grade given when faculty cannot make final evaluation of student course work
W (Withdrawal)	Student withdrew of his/her own volition from the course up to one week after the midterm exam. (May not be removed by repeating the same course.)
R (Required Withdrawal)	Teacher deems it necessary to require student to withdraw from the course before the final examination. (May be removed by repeating the same course.)
N (Credit Authorized; No Grade Recorded)	Credit approved by the University but not acquired through courses taken at the University.
SC (Substitute Course)	Course taken registered for to fulfill on-campus Study Abroad requirements

#### 6 The grade of Incomplete

If a student is unable to complete a class or assignment due to force majeure, such as health or family problems, a grade of Incomplete (I) will be given. The approval of the instructor of the course in question is required to request an Incomplete grade. Students must complete the Incomplete assessment procedures by the deadline specified by the Academic Affairs Office. The grade of Incomplete (I) will be changed to an official grade if the student completes the incomplete work within one month of the start of the next semester and submits it to the instructor of the course in question. However, if the instructor does not receive the grade within one month of the start of the next semester, the grade will be changed to an F (Fail). Exceptions may be made by the Dean in special cases to extend the time for submission of assignments. Students receiving an grade of Incomplete will not be eligible for the Dean's List for that semester.

#### 7 Grade disputes

Once a grade has been assigned, it may not be changed by the instructor in charge of the course without the approval of the Dean, except in the case of clerical or writing errors.

Students who have an objection to the final grade should first consult with the instructor of the course in question. If the objection cannot be resolved, the student may submit a written request for reconsideration to the dean within 30 days of notification of the grade. The dean or the dean's designee will reconsider the grade, and if deemed appropriate, the dean will ask the faculty member in charge of the course to reconsider the grade. However, the faculty member in charge of the course has the final authority in determining the grade.

#### 8 Academic probation and dismissal

"Probation" will be applied for the following semester for students who meet any of the following criteria.

- Students with a total GPA of less than 2.0
- Student whose GPA for the semester or overall is less than 1.5
- Students who did not complete the study abroad program

Grades for optional courses and study abroad courses do not count toward the GPA.

The Committee on Students and Admissions will consider the following disciplinary actions for students who have been placed on "Academic Probation" (Probation) for three consecutive semesters and students whose grade point average (GPA.) is below 1.5.

#### 9 Advancement and Academic Standing

Advancement and permission to participate in the study abroad program will be granted only to those who meet the following criteria for earning credits.

Year, etc.	Required Requirements	
Study abroad	As a general rule, 26 credits or more	In principle, students must fulfill the General Education course requirements in order to enroll in the specialized education courses. All students must take the TOEIC. In addition, students who do not meet the English proficiency requirement will not be allowed to advance to the next level.
3rd year	52 credits or more	
4th year	87 credits or more	

In principle, students must complete all outstanding courses before enrolling in the next year's courses.

To advance to the third year, students must obtain a TOEIC score of 500, TOEFL score of 450, TOEFL CBT score of 133, or TOEFL iBT score of 45 or higher. Students who do not meet this requirement for English language proficiency must complete courses provided for separately by the School, and obtain a TOEIC score of 500, TOEFL score of 450, TOEFL CBT score of 133, or TOEFL iBT score of 45 or higher before graduation.

**Article 9** Any of the following shall be considered an approved absence (hereinafter referred to as "approved absence"). The number of approved absences shall be deducted from the number of classes offered.

- ① Practical, etc. (Related office: Student Teaching Support Center)
- ② Employment examinations and the like (Related office: Career Education Center)
- ③ Suspension of attendance due to School Health and Safety Law (influenza, etc.) (Related office: Student Affairs Office)
- ④ In the event of a natural disaster (flood, earthquake, etc.) (including delays in public transportation)
- ⑤ Participation in extracurricular activities, such as cultural and athletic activities, as approved by the Dean
- ⑥ Other circumstances deemed unavoidable by the Dean



- 2 In the case of ① and ②, the student must obtain the seal of approval of the person concerned on the absence/bereavement notification form in advance, then obtain the seal of approval of the instructor of the course, and submit the form to the Academic Affairs Department. Even if the submission is unavoidably delayed, it must be reported within two weeks.
- 3 In the case of the preceding clause ③, a medical certificate must be submitted to the Academic Affairs Office along with the absence form. However, in the case of influenza, equivalent documents (e.g. prescription) are also acceptable.

**Article 10** Days of bereavements shall be deducted from the number of classes to be attended. A notification of excused absence and bereavement must be submitted to the Academic Affairs Office within two weeks. First obtain the seal of approval of the instructor in charge of the class and submit the form to the Academic Affairs Office.

- 2 The notification of absence for bereavement should be accompanied by a thank-you letter for the funeral.
- 3 The following consecutive days (including Saturdays, Sundays, holidays and vacations. In the case of long distance, the number of days below plus the number of days for round trip) shall be allowed for absence for bereavement.

Parent/spouse 7 days, child 5 days, grandparents/siblings 3 days, aunts/uncles/great-grandparents 1 day

**Article 11** Consortium for Higher Education Miyazaki and Credit Transfer

Miyazaki International University is a member of the Consortium for Higher Education Miyazaki. Miyazaki International University students may apply to the Academic Affairs Office to receive credit for the following courses at participating institutions.

- Moral education • Constitution of Japan • Health Science

Students may only take these courses in certain circumstances affecting their class schedule at MIU. These circumstances include:

- When a student begins a teaching course later than usual
- If you have previously taken the same course at the University and failed it.
- In case of illness or other special circumstances

Students who wish to take these courses at other universities must submit a copy of the lecture outline for the course to the dean and the teacher certification program director by the end of the first week after classes begin. After reviewing the lecture outline, the dean and the person in charge of the teacher certification program will determine whether the student is eligible to take the course and receive credit for it. After the end of the semester, students who have taken the course at another institution must submit a portfolio showing the content of the course. This is to help the University evaluate whether the course content meets the quality standards required by the University.

**Article 12:** Revision or abolition of these regulations shall be made by the President after hearing the opinions of the Faculty Council.

Addenda (Recent Addenda Only)

Addendum

These rules shall take effect as of April 1, 2021.

Addendum

These rules shall take effect as of April 1, 2022.

Addendum

These rules shall take effect as of April 1, 2023.

Addendum

These rules shall take effect as of April 1, 2024.

Addendum

These rules shall take effect as of April 1, 2025.

## 4. 国際教養学部 of 教育プログラム

宮崎国際大学は、学生生活を充実させ、問題意識を備えた思考能力と社会の向上に貢献できる能力を身に付けることを目的に精選した教育プログラムを提供している。学生がこのような目標を達成することを支援するために、本学では学際的なカリキュラムを開発し、国際的な教授陣を揃え、日本語および英語の文献類が充実した図書館に加え、教育プログラムを通して学生がコンピュータ及び情報技術に精通していただけるような授業を構成している。

各学生の教育プログラムには、グローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の4コースの授業科目が含まれている。また言語科目では英語、日本語を勉強するとともに、比較の観点から日本文化の諸相を考察する科目をも履修する。2年次には全学生が英語圏にある大学で、もしくは、授業を英語で行うアジア圏の提携大学で16週間を過ごす。

本学での授業は全て英語で行われる。教育的庇護のもとで英語漬けにするという「sheltered immersion environment」と呼ばれる環境の中で学生の英語力が培われる。また、教科とは別に英語の知識やスキルを積み上げることに焦点を置いた授業も履修するが、多くの学生は専門科目を学ぶ中で英語を絶え間なく使うことによって「実際に使える」英語力を伸ばしていくのである。学生が基礎教育科目における学問分野に精通すると同時に、実際に使えるレベルでの英語力についてもめざましい向上を遂げていることは、学生のテスト結果に表れている。

3・4年次では、グローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の4コースの専門教育が、教科の専門教員によって行われ、ここでは他の大学で使われているような基本的な授業の形態が用いられる。しかしながら、授業言語は英語であり、アクティブ・ラーニング技術が使いやすいよう1クラスの人数も少人数に抑えられている。

各授業のシラバスには、その授業でカバーする内容、英語力の進歩、批判的思考能力などについて学生が目指すべきゴールが明記されている。英語力と思考能力は授業内容と分けて教えられることはない。むしろ、こういった能力は授業内容をマスターするために用いられる「問いかけを基本とした」アクティブ・ラーニング技術の数々を用いることを通して成長していくものである。本学の教室で行われるアクティビティーの代表的なものは次のとおりである。

- 講義やプレゼンテーションを聞き、そこで理解した内容について説明する
- 語彙や核となるコンセプトを学修する
- 調査する疑問点を作り、それに対する答えを導き出すための情報を見つける
- 授業内容に関係する情報を読み、分析する
- 講義や文献、リサーチについてディスカッションする
- レポートを書き、プレゼンテーションを行う
- 様々なグループの中で仲間と協力しながらその時々 of プロジェクトに取り組む
- 実験を行い、それについてディスカッションし、口頭あるいは文書での結果報告を行う

- 試験を受け、クイズに答える

授業の中でコミュニケーションのための英語を継続して使うことで、学生はグローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の4コースの様々な専門教科を学修しながら機能的な語学力を伸ばしていく。4年次には全ての学生が教員の指導監督のもと、卒業論文を英語で書き上げる。

本学のカリキュラムは semester 制であり、卒業論文を除いてすべての科目が1学期間で完結する。4年間に亘って124単位以上を取得した学生には教授会での認定を経て学士(比較文化)の学位が与えられる。

本学でのアクティブ・ラーニングというのは、その教育課程のみならず、学生に課せられる学習態度からしても、わが国の従来の大学教育からすれば独自性の強いものである。本学の教育の特徴として、以下の諸点が挙げられる。

- できるだけ少人数制教育（通常1クラス20名以下）を採用する。
- 教員は、学生一人ひとりの個性を尊重する。学生の特性に合った授業が展開され、学生の学修の進捗は学期末試験だけでなく随時把握される。
- 学生は、授業の課題をやり遂げるために図書館を最大限利用し、自主的な学修を行うことが望まれている。

本学では、学生は学修に積極的に参加しなければならない。学生は、自ら進んで授業での討論に参加し級友との切磋琢磨によって、自らの価値観を認識し形成する。時には、論拠を示しつつ教員とも意見を異にすることもあろう。

本学の学生は、自己や自分が生活する世界について認識を深め、アジア・西洋文化を築き上げた根本思想について積極的に思索し議論する。学生は、勤勉・道徳倫理および研鑽された知性によって、必ずや社会の各方面や国および世界に貢献しうるであろう。

上述の目標をわかち合い学業に真剣に取り組もうとする学生であれば、大変刺激的で有意義な学生生活が得られる。

本学は学生の学業を成就させる使命を認識し、教員は学生の成長と進歩のための支援を惜しまない。そしてまた、本学の使命の達成は、教員の努力と学生の学習意欲とが合致するかどうかにかかっている。

#### 4. Academic Program of the School of International Liberal Arts

Miyazaki International University offers a rigorous academic program carefully designed to enrich students' lives, prepare them to think critically, and equip them to contribute to the improvement of society. To assist students to achieve these objectives, MIU has developed a multi-disciplinary liberal arts curriculum, assembled an international faculty, created a library of resources in both English and Japanese, and structured its classes to help students build familiarity with computers and current communications technologies throughout the academic program.

The academic program of each student includes four specialized courses (Global Liberal Arts, International Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Education).

Students also study English and Japanese languages, and take courses that examine aspects of Japanese culture from comparative perspectives. Students spend 16 weeks abroad at a university in an English-speaking country or at one of our affiliate institutions in Asia that conduct courses in English during their second year.

At MIU content courses are taught in English. English fluency is built through content-based instruction in a sheltered immersion environment. While students take some separate English courses that focus on building English knowledge and skills, much of the students' development of practical English skills occurs through the use of English to learn content. During the first three semesters, a specialist in teaching English as a Foreign Language works with an instructor fully qualified in teaching the subject matter. Both instructors are listed on the course syllabus, and both are present for the full class time. The content of the course is the central concern of both instructors, the content instructor determining what will be taught and teaching it, and the EFL instructor assisting with supporting activities such as work on vocabulary, reading comprehension, writing assignments, and so forth. Testing of MIU students shows that they make rapid progress in practical fluency in English at the same time that they are mastering subject areas in the liberal arts.

In the third and fourth years all four specialized courses (Global Liberal Arts, International Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Education) are taught by content faculty using the same basic course format as other universities. However, the language of instruction is English, and class sizes are kept small to accommodate the use of active learning techniques.

Course syllabi for all courses indicate course goals in the content area, in the development of English skills, and in critical thinking skills. English language and thinking skills are not taught as separate subjects in the classroom. Rather, skills are developed through the use of inquiry-based active learning techniques to master the content subject. Typical classroom activities include:

- Listening to lectures and presentations with accountability for learning the content
- Learning vocabulary and core concepts
- Creating research questions and finding relevant information to answer them
- Reading and analyzing information related to the content area
- Discussing lectures, readings, and research
- Writing papers and making presentations
- Working cooperatively in various kinds of learning groups
- Conducting experiments with follow-up discussion and reporting of results orally and in writing
- Taking exams and quizzes

This constant use of English for communicative purposes develops in students a functional proficiency in the language while they are studying various subject areas in Global Liberal Arts, International Business Management, Hospitality and Tourism Management, and English Education. In their fourth year all students complete a Senior Thesis written in English under the supervision of a senior thesis advisor.

Courses are one semester in length. Students who complete the 124-credit program are awarded the degree of Bachelor of Arts in Comparative Culture by approval of the Faculty Council.

MIU's commitment to active learning means that both its curriculum and its expectations of students are unusual in Japanese higher education.

- MIU relies on small classes (usually fewer than 20 students each) rather than large lectures.
- The faculty at MIU strive to know each student as an individual. Because of personalized

instruction, faculty evaluate student progress on a weekly or even a daily basis, not just through an examination at the end of the semester.

- Students are expected to make full use of the library and computer resources to complete assignments outside the classroom, and to engage in independent research.

Students at MIU are therefore expected to be partners in learning. They actively participate in class discussion, offer opinions, develop and defend their own values, and even disagree with their teachers and offer evidence in support of their views.

MIU students wish to know more about themselves and the world in which they live and to think and talk about the great ideas that have created Asian and Western cultures. They believe that through hard work, strong moral commitments, and disciplined intelligence they can make a difference to their community, their nation, and the world.

Students who share these aims and who approach their university experience with serious academic purpose will find studying in the MIU learning community an exciting and rewarding experience.

The University recognizes its obligations to help students succeed, and the faculty are dedicated to student development and growth. The University will be successful, however, only if the faculty obligation to teach is matched by the student desire to learn.

## 5. 教育方針

本学では、学生の学修効果を最大限のものにするため、本学の建学の精神「礼節と勤労」に鑑み、次のとおり教育方針を定めている。

### 授業への出席

本学は、教育と学修は学生と教員の交流の相互関係に基づくものとする。学生が授業や関連する活動を欠席したのでは、この相互関係は成り立たない。したがって、病気その他のやむを得ない緊急な場合を除き、授業へは必ず出席しなければならない。

### 授業の予習

本学の教育及び学修は、授業中だけに限らない。学生は十分な予習を行い、授業で出される課題はすべて締切までに提出しなければならない。

### 授業への参加

本学は積極的学習を行う教育方針であり、学生は、授業に積極的に参加するとともに、討論その他の活動の積極的な役割を果たすことが期待されている。教員は、授業での諸活動を総合的に評価し成績評価に取り入れるようにする。

### クリティカル・シンキングによる思考力

本学では、学生が授業や書物から得た知識を単に暗記・暗唱することは望んでいない。本学の教育においては、好奇心や批判的、分析的思考力および創造性がとりわけ重要な要素である。学生は、互いの意見を尊重できる良い環境で自らの意見を表現し、教員の考えを含め多様な考えを自由に批評し合うことを促される。

## 2 ヶ国語を話す能力

本学の学生は、英語・日本語の両言語に習熟することが期待され、バイリンガルになるためにあらゆる機会を利用することが望まれる。本学は、学生が英語を習得し、日本語力においても一層の向上をはかるべく、その向学心を維持させ、さらなる育成を図る。また、外国語習得の上で障壁になる社会的、心理的および文化的な障壁を払拭するように努める。

## グローバルな視野

本学のカリキュラムは、グローバルな視野からの比較研究を強調している。学生は、現代社会が直面する諸問題およびその原因やそこから生ずる社会現象の類型や結果について、グローバルな視点で研究し、また同様の問題が他の社会でどのように扱われているかという点についても探究しなければならない。

## 他者への敬意

本学は、異文化間理解に貢献しうる国際的な教育機関となることを究極の使命としている。この使命の達成には、自らが世界の一員であるという意識および文化の多様性について互いに尊重し合うことが絶対の条件である。

## 学業に対する姿勢

本学では、学生は学業に対し各々の責任を自覚することが求められている。本学では学業が他の日常の私事よりも優先され、また、大学の授業・行事への参加を欠かさないように指導される。

## 学業の進捗

学生の成績評価については、期末試験だけでなく学期中の進捗も随時評価される。授業の成績評価には、小問、試験、課題、予習および授業への積極的な参加状況などが取り上げられる。とりわけ、英語を習得する上では、聞き取る力と間違いを恐れずに話す勇気が不可欠である。

## 社会に対する責任感

本学の教育は、環境保護、人類英知の啓発、社会環境の改善のための取り組み、世界平和の推進、人道的な責任感を重視する教育理念の上に成り立っている。本学のプログラムは学生が国内外の社会環境をいかにして改善していくかを学ぶのを助けるように企画されている。

## 5. Academic Principles

In order to maximize student learning and be consistent with the MIU credo, "Respect and Diligence," the University has developed a number of academic principles:

### Class attendance

MIU believes that teaching and learning are reciprocal activities that require regular interaction between students and teachers. Such interaction cannot occur when students are absent from classes and related activities. Students, therefore, are expected to attend all classes except for personal illness or other major emergencies.

**Preparation for classes**

Teaching and learning at MIU are not limited to classrooms and lectures. Students are expected to prepare themselves for each class by completing all assignments on time.

**Class participation**

MIU embraces a philosophy of active learning. Students are required to participate in and lead class discussions and similar activities. Faculty members may assign a grade to such activities.

**Critical thinking**

MIU students are not expected simply to memorize and repeat material from class and readings. A sense of curiosity, critical thinking, and creativity are the key elements of teaching and learning at MIU. Students are encouraged to express their opinions and engage in a mutual critique of ideas, including those of the faculty, in a spirit of mutual respect and collegiality.

**Bilingual skills**

MIU students are expected to become fluent in both English and Japanese. Students should utilize every available opportunity to become bilingual. MIU strives to maintain a high level of motivation for learning English and improving Japanese and to reduce the social, psychological, and cultural barriers that stand in the way of developing language competence.

**Global perspective**

The curriculum of MIU emphasizes a global and comparative perspective. Students are encouraged to study the pressing problems of the modern world in terms of their global sources, patterns, and consequences and to examine how these issues are defined and understood in different countries and cultures.

**Mutual respect**

MIU endeavors to be an international institution that seeks to promote among its students cross-cultural understanding, a sense of being citizens of the world, and respect for cultural diversity. These qualities are vital to the success of MIU's mission.

**Academic commitment**

MIU expects its students to be fully committed to their academic responsibilities. At MIU academic life takes priority over other routine endeavors. Students are expected to participate fully in MIU activities.

**Academic progress**

The academic progress of MIU students is monitored during the entire semester. Grade assessments are not limited to the final examinations. Academic achievement is based on quizzes, tests and other assignments, as well as factors such as class preparation and participation. Classroom listening and speaking in English is a key element in improving English fluency.

**Social commitment**

MIU's program emphasizes social responsibility and moral commitment to protecting the environment, enriching human experience, improving social conditions, and encouraging world peace. Academic activities at MIU are designed to help students learn how to improve communities both at home and abroad.



## 6. 学年暦

本学の学年は前期および後期の2学期から成る。前期は4月1日～9月30日、後期は10月1日～翌年3月31日までである。学期枠を超えて準備が必要とされる卒業論文を除いては、授業は1学期を超えない期間で完結する。

授業は月曜日から金曜日の間に行われ、実習や見学は土曜日または日曜日に実施されることもある。その他の授業外行事は週末に行われることが多い。祝祭日は休業とする。具体的な年間スケジュールは年ごとに公表・通知される。

## 6. THE ACADEMIC YEAR

The academic year consists of two semesters: the first semester begins on April 1 and ends on September 30; the second semester begins on October 1 and ends on March 31. Except the Senior Thesis, which requires coursework over consecutive semesters, courses do not exceed one academic semester.

Classes are scheduled Mondays through Fridays. Make up classes or field trips may occasionally be conducted on Saturdays or Sundays, and other university activities frequently are held on the weekends. Official public holidays are observed. The University announces an annual academic calendar which should be consulted for specific information.

削除

## 7. 特定履修要件

~~秋季入学生とは、秋季入学選考により入学が認められた者である。なお、秋季入学生の修業年限は4年以上とする。~~

### 秋季入学生における履修要件

~~1年次については、基礎教育科目の中から12単位以上履修する。秋季入学生は基礎教育科目履修要件の残り6単位を3・4年次に専門教育科目の履修によって充当させる。~~

~~言語科目については、知識及び技能に関する審査における成果（TOEIC スコア 500 点もしくはそれに相当する点数）を、本学における授業科目の履修とみなし、大学に定めるところにより4単位を与えることができる\*。秋季入学生の履修要件は下表のとおりである。~~

### 秋季入学生

学年	科目の区分		卒業に必要な単位数	
入学次*	言語科目	<del>コミュニケーション英語1</del>	4	
1年次後期	基礎教育科目	<del>フレッシュマン・セミナー</del>	<del>4</del>	
		<del>人文科学・社会科学・総合科学・社会課題の研究・現代日本の芸術文化・ビジネスマネジメント・英語教育</del>	6	
	言語科目	<del>コミュニケーション英語2</del>	4	
		<del>アカデミック英語2</del>	2	
		<del>アカデミック英語3</del>	2	
	特設科目	<del>日本語表現1</del>	<del>2</del>	
2年次前期	概論	<del>情報通信技術概論</del>	4	
	基礎教育科目	<del>人文科学・社会科学・総合科学・社会課題の研究・現代日本の芸術文化・ビジネスマネジメント・英語教育</del>	11	
	言語科目	<del>コミュニケーション英語3</del>	4	
		<del>アカデミック英語4</del>	2	
		<del>日本語表現2</del>	<del>2</del>	
	特設科目	<del>日本語中級※</del>	<del>2</del>	
2年次後期	キャリア教育科目	<del>キャリア・デザイン1/日本事情1※</del>	2	
	海外研修	<del>英語(E-S-L)</del>	6	
		<del>自由研究</del>	2	
		<del>地域研究</del>	6	
3年・4年次	専門教育科目	<del>グローバル・リベラル・アーツコース、国際ビジネス・マネジメントコース、英語教育コースから選択</del>	42以上	
	言語科目	<del>日本語表現3</del>	<del>2</del>	
	特設科目	<del>日本語上級1※</del>	<del>2</del>	
		<del>日本語上級2※（留学生・帰国生徒必修）</del>	<del>(2)※</del>	
	キャリア教育科目	<del>キャリア・デザイン2、3/日本事情2、3※</del>	4	
卒業論文1、2			6	
合 計			124単位以上	

※留学生・帰国生徒のための授業科目

Deleted

## 7. Special Course Requirements

Students admitted in the Fall Semester in accordance with Fall Semester Admissions requirements shall be required to spend a minimum of 4 years at the University in order to be granted a degree.

### Fall Semester Admissions Requirements

Students admitted in the Fall Semester will complete at least 12 credits of Introductory courses, with at least one course in each of the following areas: Humanities, Social Sciences, General Science during their first semester. Fall Admission students will then complete the remainder of the General Education requirement by completing at least 6 credits of Concentration courses in the Humanities and Social Sciences during their fourth—eighth semesters.—

Credit for English 1 will be granted by examination or submitting a TOEIC score of 500 or higher (or its equivalent). Thus, a normal four-year schedule for a Fall Admission student will be as follows:

#### Students admitted in the Fall Semester

Academic Year	Course Category		Graduation Credits	
By Examination*	Language	English 1	4	
First Year, Second Semester	Introductory Courses	Liberal Arts	2	
		Humanities/Social Sciences/General Sciences— (at least one Humanities or Social Sciences)	6	
	Language Courses	English 2	4	
		Reading 2	2	
		Academic Writing 2	2	
		Japanese Expression 1	2	
	Supplementary Courses	Basic Japanese※	2	Int'l students
Second Year, First Semester	Introduction Courses	Introduction to Information and Communication Technology	4	
	Interdisciplinary Studies in the Humanities and Social Sciences	Introduction to Cultures of English—Speaking Countries	4	
		Study of Social Issues	4	
		Contemporary Japanese Arts and Culture	3	
	Language Courses	English 3	4	
		Reading 1	2	
		Reading 3	2	
		Academic Writing 1	2	
		Japanese Expression 2	2	
	Supplementary Courses	Intermediate Japanese※	2	
	Career Education Courses	Career Design 1/Japanese Studies 1※	2	
Second Year, Second Semester	Study Abroad	English (ESL)	6	
		Independent Study	2	
		Area Studies	6	
Third and Fourth Years	Specialized Courses	Concentration Courses in Humanities and Social Sciences (as the General Education requirement)	6	
		Concentration Courses for upper division major	24	
		Area Studies	15	
		Any Course	At least 2	
	Language Courses	Japanese Expression 3	2	Int'l students
	Supplementary Courses	Advanced Japanese 1※	2	
	Supplementary Courses	Advanced Japanese 2※ (International students must take this course)	2	
	Career Education Courses	Career Design 2, 3/ Japanese Studies 2, 3※	4	
Senior Thesis 1, 2			7	
Total			At least 124 credits	

※Courses for international students and Japanese students educated abroad.

## 8. 国際教養学部で取得できる資格

### 【防災士資格】

自由科目「自然災害と防災」受講について

(授業の概要)

○シラバスは、本学HPにアップされているので、必ず確認しておくこと

宮崎県は、九州地方南東部に位置し、年間を通して温暖な気候に恵まれています。しかし、一方では全国有数の雨が多い県であり、さらに夏季期間中には台風の直撃を受けるなど、風水害や土砂災害に悩まされてきました。また、宮崎は、近い将来、南海トラフの西端に位置する日向灘で起こる海溝型の地震である東南海・日向灘地震による大きな被害が想定されています。特に、過去の歴史をさかのぼると、日向灘地震は大津波を伴い、多くの犠牲者を出してきました。また、霧島連山では平成23年に新燃岳が噴火し、多くの被害が発生しました。従って、これらの災害・被害等を最小限にするために、特に中学校・高等学校等の教員を目指す学生には、ソフト・ハードの両面から、自然災害が起こる仕組みや防災対策・情報等を事前に知っておくことは極めて重要となります。

本講義では、日本防災士機構による防災士養成カリキュラムに基づき、「命は自分で守る（自助）」「地域で活動する（共助・協働）」「災害発生のしくみを学ぶ（科学）」「災害に関わる情報を知る（情報）」「新たな減災や危機管理の手法を身につける（予防・復興）」の分野（合計31項目）について受講・学修することにより、災害発生の仕組みを理解し、ついで、防災・減災対策について行政・地域における現状と課題について、さらには一旦発生した災害を想定した危機管理の手法を学修・理解します。また、本講義を受講した後、救急救命講習を受講し、さらに日本防災士機構による試験に合格し、所定の手続きを行った場合に防災士の資格認定が行われます。

(受講について)

すべての講義について、学外からの講師により実施されます。従って、休講が生じた場合以外、補講は実施できません。講義は6時限（18:00～19:30）、あるいは、一部は土曜日に開講します。予め承知の上で、受講してください。

(単位の認定)

単位認定と資格認定は異なる基準で行われます。十分な理解の上、受講してください。単位認定は、学則・履修規程に沿って行われます。すなわち、①欠席が1／3を超えた場合、受験資格が消失、②受講した講義・レポート項目のすべてについてレポート提出が必須、③成績評価はA（秀）「～90点」・B（優）「89～80点」・C（良）「79～70点」・D（可）「69～60点」・F（不可）「59点以下」となります。

(防災士資格の申請)

「自然災害と防災」による防災士資格取得には、以下の条件を満たすことが必須です。

○シラバスに記載されている31項目（講義及びレポートと記載）のすべてについて、レポートを提出する必要があります。欠席した場合（公欠の場合）、録画した映像による受講を必ず行って

ください（8割以上の講義出席が条件です）。

○教本代、受験料、認証登録料の費用が必要です。

○救急救命講習の受講・修了が必須です。宮崎国際大学で受講した学生は、宮崎市南消防署による救急救命講習を実施予定です。後日、詳細を案内します。

（防災士資格の取得）

○日本防災士機構が監理・実施する資格試験に合格し、資格申請・認定を受けたもの

○再試験を希望する不合格者は、機構が指定する日時・会場に出向いて受験することができます。

○可否の通知は、受験者本人及び養成機関宛に郵送で通知されます。

（防災士資格の認証手続き）

○防災士の認証登録手続きは、養成機関から一括申請となっているため、宮崎国際大学教務部へ申請してください。

○防災士確認証は、日本防災士機構により、申請・認定者に対して、防災士認証状（A4版縦型賞状様式）及び防災士証（プラスチックカード製の顔写真入り縦型名刺型状）を交付されます。

（その他）

○日本防災士機構は、防災士の認証等により取得した個人情報について、「個人情報保護方針」「個人情報取扱規程」に基づき、個人情報保護に関する法令を遵守・管理に努めます。ただし、国、自治体及び日本防災士会から開示請求があつて、その利用目的が防災士制度の目的に適合すると認めた場合に限り、防災士の個人情報の一部を提供することがあります。

○不明な点等あれば、教務部に問い合わせして下さい。

#### 【情報処理士】※

業務の課題を解決するための最新の情報活用能力を身につけます。本学で必修修得単位数6単位以上を含めて10単位以上を履修し、到達目標を達成すること。（学則表8参照）

#### 【上級情報処理士】※

インターネット活用、データ管理及び統計分析などを行う総合的な実践力を習得し、高度な情報実務能力を発揮し、問題の発見と解決に貢献し、チームの機動力を強化できる人材です。本学で必修修得単位数8単位以上を含めて24単位以上を履修し、到達目標を達成すること。（学則表8参照）

#### 【ビジネス実務士】※

経済社会で即戦力となれるビジネスプロの能力修得を目指します。本学で必修科目・選択科目をあわせて16単位以上を履修し、到達目標を達成すること。（学則表8参照）

※これらの資格は、一般財団法人全国大学実教育協会に申請することで資格授与されます。別途、資格授与の申請費用がかかります。詳細は<https://www.jaucb.gr.jp/>を参照

## 放課後児童支援員認定資格研修について

### 1.放課後児童支援員とは

(児童福祉法（放課後児童健全育成事業）、子ども子育て支援法（地域子ども子育て支援事業）)

放課後児童クラブ（学童保育）において、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業であり、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策として重要な役割を担っている。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（平成26年厚生労働省令第63号） 概要	
<b>＜主な基準＞</b> ※職員のみ従うべき基準（他の事項は参酌すべき基準）	
<b>支援の目的（参酌すべき基準）（第5条）</b> ○ 支援は、留守家庭児童につき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図ることを目的として行わなければならない	<b>設備（参酌すべき基準）（第9条）</b> ○ 専用区画（遊び・生活の場としての機能、静養するための機能を備えた部屋又はスペース）等を設置 ○ 専用区画の面積は、児童1人につきおおむね1.65㎡以上
<b>職員（従うべき基準）（第10条）</b> ○ 放課後児童支援員を、支援の単位ごとに2人以上配置（うち1人を除き、補助員の代替可） ○ 放課後児童支援員の資格は、保育士、社会福祉士等（「児童の遊びを指導する者」の資格を基本）であって、都道府県知事が行う研修を修了した者 ※ 平成32年3月31日までの間は、都道府県知事が行う研修を修了した者に、修了することを予定している者を含む	<b>開所日数（参酌すべき基準）（第18条）</b> ○ 原則1年につき250日以上 ※ その地方における保護者の就労日数、授業の休業日等を考慮して、事業を行う者が定める  <b>開所時間（参酌すべき基準）（第18条）</b> ○ 土、日、長期休業期間等（小学校の授業の休業日） → 原則1日につき8時間以上 ○ 平日（小学校授業の休業日以外の日） → 原則1日につき3時間以上 ※ その地方における保護者の労働時間、授業の終了時刻等を考慮して事業を行う者が定める
<b>児童の集団の規模（参酌すべき基準）（第10条）</b> ○ 一の支援の単位を構成する児童の数（集団の規模）は、おおむね40人以下	
<b>その他（参酌すべき基準）</b> ○ 非常災害対策、児童を平等に取り扱う原則、虐待等の禁止、衛生管理等、運営規程、帳簿の整備、秘密保持等、苦情への対応、保護者との連絡、関係機関との連携、事故発生時の対応 など	

### 2.放課後児童支援員認定資格研修の概要（目的）

本事業は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号。以下「基準」という。）に基づき、一定の知識及び技能を有すると考えられる基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者が、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）に従事する放課後児童支援員として必要な知識及び技能を補完し、基準及び放課後児童クラブ運営指針（平成27年3月31日雇児発0331第34号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）に基づく放課後児童支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通の理解を得るため、職務を遂行する上で必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とします。

（受講対象者）

(1) 基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者で、放課後健全育成事業に現在従事している者又は従事することを予定している者

【参考：基準第10条第3項】の該当箇所を抜粋

五 学校教育法の規定による大学（旧大学令（大正七年勅令第三百八十八号）による大学を含む。）において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者（当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。）

(2) 4日間の研修を全て受講できる者  
(研修実施計画)

放課後児童支援員に係る都道府県認定資格研修の項目・科目及び時間数

1. 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解【4.5時間(90分×3)】

- ① 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容
- ② 放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護
- ③ 子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ

2. 子どもを理解するための基礎知識【6.0時間(90分×4)】

- ④ 子どもの発達理解
- ⑤ 児童期(6歳～12歳)の生活と発達
- ⑥ 障害のある子どもの理解
- ⑦ 特に配慮を必要とする子どもの理解

3. 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援【4.5時間(90分×3)】

- ⑧ 放課後児童クラブに通う子どもの育成支援
- ⑨ 子どもの遊びの理解と支援
- ⑩ 障害のある子どもの育成支援

4. 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力【3時間(90分×2)】

- ⑪ 保護者との連携・協力と相談支援
- ⑫ 学校・地域との連携

5. 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応【3時間(90分×2)】

- ⑬ 子どもの生活面における対応
- ⑭ 安全対策・緊急時対応

6. 放課後児童支援員として求められる役割・機能【3時間(90分×2)】

- ⑮ 放課後児童支援員の仕事内容
- ⑯ 放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守

合計 24時間(16科目)

放課後児童支援員認定資格研修 実施運営

実施主体：宮崎県

事務局：宮崎県児童館連絡協議会（上長飯エンゼル児童館）宮崎県と連携して行う。

下記は令和6年度実施された日時であるので、受講する年度の研修計画を確認し、登録・受講すること

3.放課後児童支援員認定資格研修の手続き（受講に係る経費等の説明含む）

本学において希望者を募り、一括で宮崎県に申し込みを行います。そのため、後日、申込希望者に手続きの説明会を開く予定です。

<参考：令和6年度>

希望者申出期間・受付：令和 6 年 6 月

手続等説明会：令和 6 年 7 月初旬

講習会：令和 6 年 9 月中旬（4 日間実施）

会場：宮崎学園短期大学（ハイブリッド方式）

4.受講費用：無料 ※テキスト代：約 2000 円程度

5.窓口：教務部教務課

## 8. Certifications and Qualifications

### Disaster Prevention Professional Certification

About the free elective course "Natural Disasters and Disaster Prevention"

**(Outline of the Course)** ○ Syllabus is uploaded on the university's website, so be sure to check it.

Miyazaki Prefecture is located in the southeastern Kyushu region and is blessed with a mild climate throughout the year. On the other hand, however, it is one of the wettest prefectures in Japan.

Furthermore, the prefecture has been plagued by wind and flood damage and landslides, including direct hits by typhoons during the summer period. In addition, Miyazaki is expected to be severely damaged in the near future by the Tonankai-Hyuga Nada Earthquake, an ocean-trench type earthquake that will occur in the Hyuga Sea, located at the western edge of the Nankai Trough. In particular, going back to past history, Hyuga-nada earthquakes have been accompanied by large tsunamis, resulting in many casualties. Also, in the Kirishima mountain range, Mt. Shinmoedake erupted in 2011, causing much damage.

Therefore, in order to minimize these disasters and damages, it is extremely important for students, especially those who aim to become teachers at junior high schools and high schools, to know in advance how natural disasters occur, both in terms of software and hardware, as well as disaster prevention measures and information.

In this course, based on the curriculum for training disaster prevention specialists by the Japan Disaster Prevention Specialist Organization, students will learn about the following areas (31 items in total):

"Protect your own life (self-help)," "Work in the community (mutual help and cooperation)," "Learn how disasters occur (science)," "Learn disaster-related information (information)," and "Learn new disaster mitigation and crisis management techniques (prevention and recovery). By attending and studying these courses, students will understand how disasters occur, the current status and issues of disaster prevention and mitigation measures in government and local communities, and methods of crisis management in the case of a disaster that has already occurred. After taking this course, students must take a first-aid and lifesaving course, pass an examination administered by the Japan Disaster Prevention Professionals Organization, and complete the prescribed procedures to be certified as a disaster prevention professional.

### **(About Attendance)**

All lectures will be given by lecturers from outside the university. Lectures will be held during 6th period (18:00-19:30) and some lectures will be held on Saturdays. Please understand this in advance before



taking the course.

### **(Credit Recognition)**

Credit recognition and qualification recognition are based on different standards. Please take the relevant course with full understanding and acceptance of these differences. Credit recognition will be conducted in accordance with the University Rules and Course Regulations. That is, (1) if you are absent more than 1/3 of the time, your eligibility for the examination will be forfeit, (2) you must submit reports on all lectures and report items you have attended, and (3) you will receive a grade of A (Excellent) "90 points", B (Above Average) "80-89 points", C (Average) "70-79 points", D (Below Average) "60-69 points", or F (Fail) "59 points or less").

### **(Application for Disaster Prevention Professional Certification)**

The following conditions must be met in order to obtain the Disaster Prevention Professional Certification through the "Natural Disasters and Disaster Prevention" course.

- You must submit reports on all 31 items (described as lectures and reports) listed in the syllabus. If you are absent (in case of excused absence), you must take the course by video recording (attendance of 80% or more of the lectures is required).
- The cost of the instructional materials, examination fee, and certification registration fee are required.
- Attendance and completion of an emergency life saving course is required. Students who have taken the course at Miyazaki International University are scheduled to take a first aid course by the Miyazaki City Minami Fire Department. Information will be provided at a later date.

### **(Acquisition of Disaster Prevention Professional Certification)**

◆ Those who have passed the qualification examination supervised and administered by the Japan Disaster Prevention Professionals Organization, and have applied for and been certified as a certified disaster prevention specialist.

Those who have not passed the examination may take the examination again at the time and place designated by the JABEE.

- Notification of pass/fail will be sent by mail to the applicant and the training institution.

### **(Certification Procedures for Disaster Prevention Professionals)**

The registration procedure for certification as a certified disaster prevention specialist is a one-time application from the training institute, so please apply to the Academic Affairs Office of Miyazaki International University.

The Japan Society for Certified Disaster Prevention Professionals (JSDPP) will issue a Certificate of Certified Disaster Prevention Professional (A4 size vertical award certificate) and a Certificate of Certified Disaster Prevention Professional (plastic card with photo and vertical business card) to those who apply and are certified by JSDPP.

### **(Others)**

The Japan Organization for Certified Fire Fighters will comply with the laws and regulations regarding

the protection of personal information in accordance with the "Personal Information Protection Policy" and "Personal Information Handling Regulations" and will make every effort to manage the personal information obtained through the certification of certified fire fighters. However, a part of the personal information of a disaster prevention professional may be provided only when there is a request for disclosure from the national government, local government, or the Japan Society of Certified Disaster Prevention Professionals, and when the purpose of use of such information is deemed to be compatible with the purpose of the Certified Disaster Prevention Professional System.

○If you have any questions, please contact the Academic Affairs Office.

#### **Information Technology Professionals \***

Acquire up-to-date information application skills to solve business problems. Students must complete at least 10 credits, including at least 6 required credits at the university, to achieve the attainment goal. (See Appendix 8 of the school regulations.)

#### **Advanced Information Processing Specialist \***

This is a person who can acquire comprehensive practical skills in Internet utilization, data management, and statistical analysis, demonstrate advanced practical information skills, contribute to the discovery and solution of problems, and strengthen the mobility of the team. Students must complete at least 24 credits, including at least 8 required credits at the university, to achieve the attainment objectives. (See Appendix 8 of the school regulations)

#### **Certified Business Administrator \***

This course aims to acquire business professional skills that can be used immediately in an economic society. Students must complete at least 16 credits of required and elective courses at the university and achieve the attainment target. (See Appendix 8 of the school regulations.)

\* These qualifications are awarded by applying to the National Association of Colleges and Universities for Practical Education. There is a separate application fee for the awarding of qualifications. For more information, please visit <https://www.jaucb.gr.jp/>.

## 9. 連携開設科目について

### I. 一般社団法人学修評価・教育開発協議会加盟校が開設する連携開設科目

開講元大学	科目名	開講学期	履修条件
関西国際大学	コミュニティ防災	春	オンデマンド
	データサイエンス	秋	オンデマンド
共愛学園 前橋国際大学	キリスト教と多文化社会	春	オンデマンド
	現代社会と聖書	秋	オンデマンド
富山国際大学	人工知能とその活用	秋	オンライン
	ジェンダー論	秋	オンライン
宮崎国際大学	多国言語と文化（英国）	春	オンライン
	多国言語と文化（フィリピン）	秋	オンライン
札幌国際大学	観光事業論	春	オンデマンド
	北海道学	秋	オンデマンド

一般社団法人学修評価・教育開発協議会加盟校：学校法人濱名山手学院（関西国際大学）、学校法人北陸学院（北陸学院大学）、学校法人共愛学園（共愛学園前橋国際大学）、学校法人宮崎学園（宮崎国際大学）、学校法人富山国際学園（富山国際大学）・札幌国際大学

### II. 地域活性化人材育成事業 SPARC が開設する連携開設科目

#### ベーシックコース（14 単位以上）

- 令和 7 年度以降入学の国際教養学部生全員が、ベーシックコースを受講し、教養教育必修 14 単位、教養教育選択（任意）、専門教育選択（任意）、合計 14 単位以上を修得します。

区分	開講大学	必修 選択	授業科目名	単 位 数	DP			教育内容		
					DP1	DP2	DP3	地域	ENP	PBL
教養教育（必修）	MIU	必修	フレッシュマン・セミナー	2			◎	○		
		必修	世界市民入門	2		◎		○		
		必修	情報科学基礎 1	2	◎			○		
		必修	情報科学基礎 2	2	◎			○		
		選択 必修 ※	キャリア・デザイン 1	2	○		○	◎		
			キャリア・デザイン 2	2		○			◎	
			キャリア・デザイン 3	2			○			◎
			キャリア・デザイン 1（留学生用）	2						
			キャリア・デザイン 2（留学生用）	2						
			キャリア・デザイン 3（留学生用）	2						
教養教育（選択）	MIU	選択	自然生命科学概論	2	◎			○		
		選択	情報リテラシー	2	◎			○		
		選択	観光概論	2		○		◎		
		選択	マーケティング	2		○		○		
		選択	教職概論	2			○	◎		

(選択) 専門教育	宮大	選択	商品開発・ものづくり概論	2			◎	○		
		選択	日向神話と神楽	2			○	◎		
		選択	プレゼンテーション技法 (プレゼンテーションスキルアップ 論)	2		◎		○		

※日本人学生はキャリア・デザイン1～3から6単位、留学生はキャリア・デザイン1～3 (留学生用) から6単位を受講すること。

#### アドバンスコース (16 単位以上)

- ・ 教養教育 (必修) 2 単位、専門教育 (選択必修) 2 単位、専門教育 (必修) 6 単位、専門教育 (選択) 6 単位以上、合計 16 単位以上を修得します、SPARC アドバンスコース修了生には、卒業時に「未来共創教育プログラム修了書」を授与します。3 年生からの受講になります。

区分	開講大学	必修 選択	授業科目名	単位数	DP			教育内容		
					DP1	DP2	DP3	地域	ENP	PBL
(必修) 教養教育	宮大	必修	地域キャリアデザイン 1 (キャリア)	2		◎		◎	◎	
(選択必修) 専門教育	MIU	選択必修	ビジネス実践演習 1	2			◎			◎
	宮大		SPARC プロジェクト実践演習 I (実践型)	2		◎			◎	◎
(必修) 専門教育	MIU	必修	卒業研究 I	2			◎	◎		
		必修	卒業研究 II	4			◎	◎		
専門教育 (選択)	MIU	選択	アントレプレナーシップ 研究	2		◎			◎	
		選択	ICT 総合実践	2	◎			○		
		選択	観光産業	2		○		○		
		選択	多文化共生論	2			◎	○		
		選択	プレゼンテーション技術と表現	2	◎			○		
		選択	日本の地域文化 1	1		◎		◎		◎
		選択	日本の地域文化 2	1			◎	◎		◎
		選択	日本の地域文化 3	1		◎				◎
		選択	日本の地域文化 4	1			◎			◎
		選択	地域の課題演習	1	◎	◎	◎	○		◎
	宮大	選択	「短歌県みやざき」ことばの力と牧水入門	2			◎	◎		
		選択	亜熱帯薬食資源学	2	◎			◎		
		選択	生活デザイン・ものづくり概論	2		◎		○		

- SPARC 事業参加校：宮崎大学・南九州大学・宮崎国際大学・宮崎学園短期大学
- SPARC ディプロマ・ポリシー (DP)：DP1 科学的思考力、DP2 俯瞰力/構想力、DP3 繋ぐ力/構想実現力
- SPARC の教育内容：①地域学 (略称 地域)、②アントレプレナー (略称 ENP)、③地域課題 PBL (略

称 PBL)

### Ⅲ. 大学の世界展開力強化事業(宮崎大学)が開設する連携開設科目

開講大学	授業科目名	単位数
宮崎大学	ICT を用いた言語・文化コミュニケーション基礎	2
	英語で学ぶ 21 世紀における国際的な GX の取り組み (海外研修：米国)	2
	英語で学ぶ 21 世紀における国際的な GX の取り組み (海外研修：韓国)	2

事業参加校：宮崎大学（主幹校）、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学

## 10. 履修に関する諸規則

### 学業指導

個別指導教員は、学生に対し履修科目の選択や学修上の諸事項について助言を行い、相談に応じる。本学の学生には入学時より個別指導教員がそれぞれ割り当てられる。個別指導教員は履修科目・時間割・諸手続きに関する質問に答えつつ、学生が大学生活に適応するのを助け、将来計画についても広い視野から考えるよう、助言を与える。

学生は、履修科目登録に先立ち、個別指導教員に相談しなければならない。教育的観察（履修規程第8条を参照）にある学生は、スケジュールに沿って定期的に個別指導教員と会うことになる。ただし、専門科目に関する質問事項については、当該科目担当教員に問い合わせる。

### 授業への出席

全ての授業への出席が求められる。本学の教育プログラムの積極的学習が成果をあげるか否かは、学生が授業に積極的に休まず参加するか否かによる。したがって、成績向上のためにも、学生はすべての授業、語学、科学実習への出席が義務づけられている。

本学はさまざまな方法で学生の授業への出席を強く促す。欠席した学生には補習を求める。教員は補講を行う他、補習の方法を含めたシラバス（授業骨子）を学生に配布する。授業時には遅刻せず、授業には常に出席しなければならない。出席率の悪い学生は、履修中の科目からの強制辞退の措置も取られることがある。

やむをえず遅刻・欠席する場合は、該当の授業担当の先生に、“自分から”メール等を使って、遅刻・欠席する旨を連絡してください。また、病気、怪我、忌引等で連続して欠席する場合は、便覧の巻末にある「授業欠席届」を学生部まで提出してください。

### 単位修得に関わる中間報告制度

毎学期、全科目において学生の学業状況について担当教員による中間報告を行う。第7週に全学生の学業状況を把握し、第8週に単位修得が困難だと予想された場合（1年時生は全員が対象）、担当教員は中間報告を教務部、学部長、アドバイザーに送り、本人に対しては書面による報告を行う。アドバイザーは担当教員と解決方法を相談し、学生の指導や勉学上の習慣などについてさまざまな支援を行う。単位修得が困難だと予想される科目が多い場合は、保護者と本人宛に書面で連絡し、必要な場合は学部長面談も行われる。

### 履修科目の辞退

履修科目変更期間終了後から、各学期における中間試験後1週間以内（締め切り日は教務部より通知される）まではペナルティーなしに辞退することができる。その場合、W（辞退）が成績表に記される。辞退とは教務部に履修科目辞退届（教務部より受け取ること）を提出してのみ認められるもので、授業の欠席、期末試験を受けない等の行動は辞退とは認められない。

### 評定への異議申し立て

一度評定された成績は、事務上又は記載上の誤りによるもの以外、学部長の承認なしに当該科目担当教員によって変更されることはない。

最終評定に対し異議申し立てのある学生は、まず当該科目担当教員と相談すること。そこで異議が解決しない場合には、評定の通知から 30 日以内に再考請求申立書を学部長に提出できる。学部長もしくは学部長に指名された者により再検討がなされ、適当と思われる場合には、学部長から当該科目担当教員に評定再検討の依頼が行われる。ただし、評定決定の最終権限は当該科目担当教員にある。

### **学部長リスト及び卒業成績優秀者**

学期末毎に、GPA（評定平均値）3.5 以上を取得した学生は学部長リストにおいて発表される。卒業時、加算評定平均値が 3.5 以上の学生は成績優秀者として表彰される。その内、加算評定平均値の一番高い者は、成績最優秀賞(バレディクトリアン)を与えられる。又、成績のみならず学内において総合的な努力を修めた者には宮崎国際大学賞を与える。国際人として活躍した学生には世界市民賞が授与される。

### **シラバス**

各学期の第 1 週に、教員は履修学生に各科目のシラバスを配布する。シラバスには通常、担当教員のオフィスアワー（面会時間）と内線電話番号のほか、その科目の最終目標、授業で取り上げられる事項、研究課題（課題読書、レポート、プロジェクトなど）や評価方法、評定基準、遅刻・欠席への対処など授業に関する方針等が記載される。

### **学生による授業評価制度**

毎学期終了直前に、学生は履修中の科目についてアンケートに回答する。アンケートは無記名で実施され、本学の教育課程の評価及び改善に活用される。

### **試験**

学期中、本学の教員はさまざまな方法で学生の進捗や達成度を評価する。教員はシラバスや授業を通じて評価の形式・方法、また、最終成績におけるそれらの占める割合等について学生に知らせる。期末試験は全科目について行われ、各科目について学生の理解度が評価される。期末試験は試験期間中に行われるが、教員によっては筆記試験の代わりに記述・口頭・視聴覚機材によるレポートあるいはプレゼンテーションによって示される学生の総理解を最終評価の基準とする場合もある。これらは個人のものである場合、グループのものである場合の双方があり、いずれも提出期限は試験期間内とする。学修上の誠意についての本学の考え方は、他の課題、試験の場合についても同様である。

### **学業上の誠実**

本学では教育の場として、学生と教員に学業上の誠実さを十分に保持することを求める。学生は、試験、宿題、研究発表（レポート）等すべての課題に誠意をもって取り組むことが求められる。

学業上の誠実さの意味について疑問がある学生は、教員と相談してその概念の理解を明確にしておいてもらいたい。

本学の学生はしばしばグループで学修し互いに学び合う。教員の指示に基づくグループ作業は学修上有効である。課題によってはレポートを作成する際などに文献等を活用する事もしばしばあるが、引用文献の出典を明記する限り学修上の正当な行為であるとされる。

不当な行為とは以下を指す。

- a. 不正： 研究課題において、虚言で固めたものを提出したり、他人が作成したものを自分のものとして提出したりすること
- b. 偽造： 宿題作成において、情報や引用文献等の偽造を行うこと
- c. 盗用： 著作者の引用なしに、他人の言葉や考えを自分のもののように表示すること

このような不当な行為は、教育の場で最も重要である信頼の絆を壊すことになるので、非常に深刻な問題とみなされる。状況に応じて、教員が学生の不当な行為について学生本人と直接話し合い指導する。場合によっては、こうした不当な行為がどのような結果を引き起こすかという警告、課題のやり直し、研究課題や科目における評価の引き下げ、履修辞退の要請などの処置がとられる。

## 休学

疾病その他特別の理由のため 2 ヶ月以上就学することができない場合には、休学が認められる。疾病のため休学する場合には、保護者連署の休学願に医師の診断書を添付しなければならない。休学期間は在学年限に算入されない。休学後の復学は、復学願の届け出を経て翌学期より認められる。休学願用紙は、教務部で受け取る。休学期間は通算 4 年を越えることができない。休学中の納付金については学則第 48 条第 3 項を参照すること

## 退学

退学を願い出る学生は、教務部に申し出なければならない。教務部は、退学に伴う手続きを行う。また、退学願には学生とその保護者の署名を必要とする。授業に出席しない等の行動は退学とはみなされない。当該学期の授業料および諸費用は返還されない

## 除籍

次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められた者
- (2) 所定の登録手続きをせず、また休学、退学の手続きをしない者
- (3) 授業料、諸費の未納が 3 ヶ月以上に及ぶ者
- (4) 在学年限を経過してもなお卒業に必要な単位を取得できない者
- (5) 休学期間を超えてもなお復学もしくは退学しない者
- (6) 行方不明者又は死者

除籍された者が再入学を願い出たときは、学長は教授会の議を経てこれを許可することがある。



### 編入学の単位認定

3 年次編入生が他大学で修得した科目を、本学の 1・2 年次カリキュラムと照らして基礎教育科目、言語科目及び海外研修科目の単位の認定を行う。認定単位数が 68 単位に満たない学生は、学部長とカリキュラム委員会との協議の結果決定された、不足分の単位に充当する科目を履修することとなる。

専修学校の専門課程、短期大学、高等専門学校および 4 年制大学を卒業した者、あるいは、他の 4 年制大学で最低 2 年の学業を修了した者は、入学試験の結果、原則として本学 3 年次への編入が許可される。（「2 年の学業」とは最低 62 単位を修得していることを意味する。）

- a. 英語と日本語のいずれについても適切な学力がなければならない。具体的には、TOEFL480 点以上または同等の英語力が入学要件である。例外的に、英語力の判定の際に他の諸事情を考慮に含めることもある。
- b. 単位換算の対象とされるのは、C 評価以上の成績を修めた科目のみであり、修了した科目の平均成績は 2.0 以上でなければならない。（成績が A, B, C でのみ評価される場合には、A を 3.5 点、B を 2.0 点、C を 1.0 点として点数に換算する。）

### 他大学等で修得した単位の認定について

1. 大学又は短期大学を卒業又は中途退学し、新たに本学の第 1 年次に入学した学生が他大学で既に取得した単位については、30 単位を越えない範囲で、本学において取得したものとして認定することができる。
2. 教育上有益であると教授会が判断した場合に、他の大学又は短期大学において取得された単位については、60 単位を越えない範囲で本学において取得したものとして認定することができる。ただし、編入学・転入学の場合を除く。

### 国際交流

大韓民国、香港、台湾、イギリス等の複数の大学との間に学術交流協定を締結しており、留学生の受け入れや本学学生の派遣をはじめとする様々な学術交流を行っている。

### 宮崎国際大学の交換留学生制度

宮崎国際大学は、海外においては、淑明女子大学校、ソウル市立大学、ヨンナム大学校（韓国）、センテニアル大学（香港）、静宜大学（台湾）及びヨーク・セント・ジョン大学（イギリス）、国内においては、関西国際大学、淑徳大学、北陸学院大学、富山国際大学、共愛学園前橋国際大学及び大正大学と交換留学協定を結んでいる。この協定にしたがい、両大学の学生は交換留学生として相手側の大学で学ぶことができる。交換留学生は在学期に授業料等を支払い、在学期から単位の認定を受ける。また留学に伴う費用は交換留学生個人が支払うものとする。ただし、交換留学生として在学する大学において授業料・入学金等を支払う必要はない。

宮崎国際大学に在学する学生で、交換留学生として交換留学先大学に在籍する意思を有するものは、その旨の許可申請をしなければならない。また本学の交換留学生が交換留学先大学で、宮崎国際大学の単位として認定されるものを履修する場合は、事前に承認を受けるものとし、学

業が満足に修了されなかった場合には、単位認定は行なわれない。交換留学制度に関する詳細は前期中にグローバル教育センターが発表する。交換留学は、通常3年次学生を対象として後期に行なわれ、専門教育とみなされる科目を履修することになる。教職課程を履修する学生が交換留学制度に参加しようとする場合は、通常、宮崎国際大学に1学期間以上多く在籍する必要がある。

### 高等教育コンソーシアム宮崎及び単位互換

宮崎国際大学は高等教育コンソーシアム宮崎のメンバーである。本学の学生は同コンソーシアムに参加している機関において、以下の科目を履修しその単位の認定を受けるべく、その許可申請を本学教務部に提出することができる。これらの科目はすべて教職課程の必修要件となっており、教授言語は日本語である。

- 道徳教育論、日本国憲法、健康の科学

これらの科目は、本学の時間割上それらの履修が難しいとみなされる以下の場合にのみ、その履修が許可されるものである。

- 通常より遅れて教職課程を履修し始めたとき
- 本学で同科目を以前履修したが、不合格となったとき
- 病気など、その他特別な事情があるとき

これらの科目の他大学での履修を希望する学生は、授業開始後第1週目の終わりまでに、その科目の講義概要の写しを学部長及び教職課程担当責任者に提出しなければならない。学部長及び教職課程担当責任者は、講義概要の内容を確認した上で、学生がその科目を履修し、単位を取ることができるかの判断をする。学期終了後、他大学で該当科目を履修した学生は、その履修した科目内容を示すポートフォリオを提出しなければならない。本学がその科目内容が本学の求める質の基準を満たしているかどうかについての評価をする参考資料とするためである。

コンソーシアム加盟大学で履修した単位は原則として卒業必修単位として認めない。

### 個人情報の取扱いについて

宮崎国際大学（以下「本学」という）では、入学予定者、在学生の個人情報のみならず、保護者や卒業生などの個人情報を取扱っています。個人情報の不正使用や流出を防ぎ、個人情報を適切に管理・使用していくためには、国が定める「個人情報保護法」ならびに「学校法人宮崎学園個人情報の保護に関する規程」等の学園内諸規程を策定し、これらに則って、以下の通りに取扱います。

#### 1. 個人情報とは

本学が、業務上取得する在学生ならびに卒業生、入学予定者に関する情報であり、入学手続き時に提出された氏名、住所、生年月日、写真、その他の記載により個人を特定できるものを言います。また、在学中の修学上本学が作成する正課内外における情報（成績情報、指導記録、活動記録など）も含みます。

## 2. 利用目的

本学では以下に掲げる教育研究、修学支援に必要な業務を遂行するため、業務上取得した学生および保証人等の個人情報を主に、次の目的のために適正に利用します。利用目的に大きな変更が生じる際は、学生ならびに保証人に同意を得ます。学生の個人情報は学籍番号で分けし、主に、以下の業務遂行のため利用します。

- (1) 学籍関係：学籍情報の管理、クラス名簿等の作成、休学・退学・復学等の諸手続き、編入学・転入学・再入学など
- (2) 修学関係：履修相談、履修指導、履修登録・通知、授業・定期試験、成績処理・通知、単位認定、卒業判定、諸資格認定など
- (3) 学生生活：学生生活全般に関わる指導・助言、学生支援に関わる指導記録作成、奨学金関連業務、定期健康診断・日常の健康相談、課外活動支援、外国人 留学生在留等手続、入寮・退寮手続、学生災害障害・賠償保険手続など
- (4) 進路関係：就職・進路全般に関わる支援、就職・進路全般に関わる指導記録作成、進路希望登録、進路登録、就職斡旋、自主実習、課外講座運営、模擬試験運営、卒業後の在職状況把握など
- (5) その他：各種連絡・呼び出し・通知、各種証明書発行、\*卒業アルバム制作、\*本学広報に関わる媒体への掲載、各種調査報告、学則による処分など

\* 制作の際に撮影した画像等の肖像権は大学に帰属するものとします。また、授業・課外活動・その他学校行事の際に撮影した写真・映像等は 本学の教育活動および大学広報のために、大学案内をはじめとする広報媒体に使用することがあります。

## 3. 個人情報の第三者提供について

本学では、教育研究および学生支援に必要な業務を遂行するために、学生ならびに保証人等の個人情報を下記の通り、第三者に提供することがあります。外部業者へ業務委託する場合の業者選定にあたっては、個人情報保護体制が確立した業者を選定し、機密保持契約を締結します。

- (1) 学生の学業成績等の修学状況を保証人に提供します。本学では、保証人との連携による修学指導が教育上有効な手段であると考え、年度末の成績確定の段階で保証人宛に「成績通知書」を送付します。また、本学が開催する保護者懇談会においても履修状況・単位修得状況を提示しながら、学生生活・修学状況・進路支援等について個別面談を行います。
- (2) 学生の個人情報を同窓会に提供します。本学では、卒業生間のつながりの必要性を認識するとともに、同窓会活動と本学との連携を重要視しています。その活動を支援するため、学生の情報（氏名・卒業学科・住所など）を提供します。
- (3) 学生の個人情報を後援会に提供します。本学では、後援会活動と本学との連携による修学支援、修学環境整備等を重要視しています。その活動実施のため、学生の情報（氏名・所属学科・住所など）を提供します。
- (4) 本学の広報誌媒体作成に伴う個人情報・写真等を作成委託業者へ提供します。

- (5) 学生の健康診断実施に伴う個人情報を医療機関へ提供します。
- (6) 免許・資格の申請を行うため、学生の個人情報・成績情報などを管轄諸官庁に提供します。
- (7) 学生のインターンシップ・学外実習・ボランティア・海外留学等に伴う個人情報を受け入れ先に提供します。
- (8) 学生教育研究災害障害保険・学研災付帯賠償責任保険の加入手続きのために、学生ならびに保証人の個人情報を関連の保険会社に提供します。
- (9) 学生の奨学金の申請・交付・継続申請に伴う個人情報を奨学金団体に提供します。
- (10) 学生の国内外の研修旅行・留学の実施に伴う個人情報を旅行代理店等に提供します。
- (11) 外国人留学生の在留等手続を行うため、学生の個人情報・成績情報などを管轄諸官庁に提供します。
- (12) 法令に基づく場合や、学生本人または第三者の生命、身体の安全または財産その他の権利保護のため、緊急の事情、国・地方公共団体などへの協力義務に基づく合理的理由がある場合は、例外的に学生または保証人の情報を提供します。

#### 4. 共同利用について

本学では、上記2の利用目的のために、各部署で個々に業務上取得・作成した学生および保証人等の個人情報を部署間で共有します。

#### 5. 個人情報の管理について

(1) 業務上取得した個人情報ならびに成績情報・就職状況等の情報は、紙もしくは電子データの形態で保管します。

(2) 個人情報の管理にあたっては、「個人情報保護法」ならびに「学校法人宮崎学園個人情報の保護に関する規程」等学内諸規程に則って、適正に利用・管理・廃棄します。

#### 6. 個人情報の開示について

本学が業務上取得および作成した個人情報については、本人に帰属する情報に限り、開示請求することができます。しかしながら、個人情報のなかには開示請求に応じられない情報もあります。その場合は、その理由を文書により通知します。開示請求窓口は総務部総務課です。

#### 7. 問い合わせ・相談窓口について

宮崎国際大学 総務部総務課

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙 1405 番地

電話：0985-85-593

## 10. Academic Regulations and Policies

### Academic Advising

An academic advisor is a faculty member who assists students in the selection of courses, advises them regarding their academic progress or problems, and is available to discuss any student problem or concern.

Each student entering MIU is assigned an academic advisor. In addition to providing short-term answers to questions on courses, schedules, and procedures, academic advisors help students adjust to university life and encourage students to think broadly about educational and career goals.

Students must consult with their academic advisors prior to course registration. Students on probation (\*) must have regularly scheduled meetings with their academic advisors. Students having academic difficulties in a particular course should bring their problems to the attention of the course instructor(s).

(\*Please refer to section 8 of Course Regulations regarding to “probation.”)

### **Class Attendance**

Attendance is required at all classes. Student success in MIU's program of active learning depends on continuous participation in classroom activities. To learn English and other subjects, MIU students must attend all classes and take part in all class activities. MIU expects students to accept their responsibility for attending and being on time for all classes. MIU emphasizes the importance of regular attendance in a number of ways. Attendance records are maintained in all classes. Faculty members can require students who miss classes to make up the work they have missed. Individual faculty practices covering absenteeism, tardiness, and their remedies are stated in the syllabus for each course. Students who have excessive absences may be required to withdraw from a course.

In the event of an unavoidable lateness or absence from class, you are expected to notify the instructor of the courses in question personally via email or telephone. Also, extended absences due to illness, injury, bereavement, etc. must be reported to Student Affairs using the Excused Absence Form (see "Forms" in the back of the Bulletin).

### **Midterm Reports**

Each semester the instructors of each course submit mid-term reports regarding the academic progress of their students. In the 7th week of the semester, instructors identify students who are at-risk students in their courses. In the 8th week, instructors send progress reports to the Dean of Faculty, the Office of Academic Affairs and academic advisors and give written reports directly to all first year students and 2nd-4th year students who are in danger of failing. Academic advisors consult with the students and the instructors of their classes to determine the most effective solutions to their problems. Based upon mid-term reports, the Dean of Faculty sends a letter of encouragement and/or warning to students who are in danger of failing 2 or more classes or are having other difficulties. When necessary the Dean of Faculty also invites students for individual consultation and guidance.

### **Withdrawing from a Course**

Aside from the Drop/Add period, students may voluntarily withdraw without penalty from a course up to one week after the midterm exam, the deadline to be announced by the Registrar. The grade of **W**, Withdrawal, will appear on the student's transcript. A student can only withdraw from a course by completing a **Withdrawal from a Course** form, available from the Registrar, and filing that form with the

Registrar. A student cannot withdraw from a course by no longer attending classes in that course or by failing to take the final examination in the course.

### **Grade Disputes**

Course grades once awarded may not be changed by the faculty for reasons other than clerical or reporting errors without approval of the Dean of Faculty.

A student who disputes a final grade must first discuss the matter with the course faculty. If the dispute is unresolved, the student may submit a petition for grade reconsideration to the Dean of Faculty within thirty days after grade notification. The Dean, or a designate, will review the dispute and, if deemed appropriate, may ask the faculty member(s) to reconsider the grade. The final authority for awarding a grade remains with the faculty.

### **Dean's List and Graduation Honors**

At the end of each term a Dean's List of students with a GPA of 3.5 or better will be announced.

Students who graduate with a cumulative GPA of 3.5 or above will be awarded a certificate of Academic Excellence at graduation. The student who graduates with the highest cumulative GPA will be designated the Valedictorian. Other awards recognized at graduation include the MIU Award, given to students in recognition of overall contribution to the University community in and out of the classroom, and the Global Citizenship Award, given to graduating students who have distinguished themselves as international citizens.

### **Course Syllabi**

In each course, faculty distribute a syllabus to enrolled students during the first week of the term. The syllabus provides faculty office hours and phone numbers and generally defines course goals and objectives, course topics, and the types of coursework (such as reading assignments, papers, and projects) that will be required. In addition, the syllabus includes other information that informs students of policies and expectations governing the course including course assessment, grading standards, and attendance requirements.

### **Student Evaluation of Courses**

At the end of each semester, students are asked to complete student evaluations of the courses in which they are registered. Student evaluations are anonymous and are used to assist faculty in improving the educational curriculum.

### **Examinations**

MIU faculty use a variety of assessment methods throughout the term to examine student progress and achievement. Through the syllabus and announcements in class, faculty inform students about each form of evaluation and its weight in the final grade. Each course also requires a final examination assessing the

student's understanding of the total theme of the course. Final examinations are conducted during the scheduled final examination time. Some faculty may offer an alternative form of cumulative evaluation such as a written, oral, or visual report or presentation. These may involve individual or group work and are also due during the scheduled final examination time. The University's statement on academic honesty governs examinations as well as all other academic work.

### **Academic Honesty**

As a learning community, MIU expects its students and its faculty to uphold the highest standards of academic honesty. For students, standards of academic honesty apply to all academic assignments, including, among others, examinations, homework, and papers. Students who have questions about the meaning of academic honesty should clarify this concept by speaking with a faculty member.

Students at MIU will often be expected to work in teams and to learn from each other. Such collaborative activities, when assigned by a faculty member, are academically honest. Students may often be asked to report on materials in published documents; such reports, when they cite the source, are academically honest.

Academically dishonest behavior includes:

- a. Cheating. Cheating means intentionally using deceit or misrepresentation in any academic assignment.
- b. Fabrication. Fabrication means falsifying or inventing information or citations in any academic assignment.
- c. Plagiarism. Plagiarism means representing the words or ideas of another as one's own, without giving credit to the original author.

Because engaging in academically dishonest behavior destroys the bonds of trust that are an essential ingredient of a learning community, it is considered an extremely serious matter. Depending on the circumstances, faculty may respond to such behavior by counselling the student about the nature of academically dishonest behavior, by warning the student about the consequences of such behavior, by asking a student to repeat an assignment, by lowering a student's grade in an assignment or a course, by asking a student to withdraw from a course, or by other appropriate actions.

### **Leaves of Absence**

When a student is unable, because of illness or other compelling difficulties, to attend classes for two months or more a Leave of Absence may be approved. If the Leave of Absence is requested for medical reasons, a medical certificate must accompany the application with the guarantor's signature. A Leave of Absence is not included in the time limits for completing the degree. Students may return to the University after a Leave of Absence at the beginning of a term and upon prior notification to the University. Forms to request a leave of absence may be obtained from the Academic Affairs office. Leaves of Absence are

granted for no more than 4 years, overall. See the Article 48(3) in the regulations of MIU regarding fees charged during a Leave of Absence.

#### **Withdrawal from the University**

A student intending to withdraw from the University must inform Academic Affairs, which will arrange an exit interview. Signatures of the student and the guarantor are required on the Withdrawal Application. Not attending classes does not constitute withdrawal from the University. Tuition and fees for students who withdraw during the term are not refunded.

#### **Removal from the University Register**

The President may remove a student from the university register upon consultation with the Faculty Council in any of the following circumstances.

- (1) When a Student's academic record implies a lack of ability to graduate
- (2) When a student has not completed specified Registration procedures, or has not completed the procedures for Leave of Absence, Withdrawal from University, and so on
- (3) When a student has not paid tuition and other fees for a period of more than 3 months
- (4) When a student has not completed the number of credits required for graduation and will exceed the limit for completion of study
- (5) When a student exceeds the period of Leave of Absence and has not submitted a Request to Return to University or a Request for Withdrawal from University
- (6) When the whereabouts of a student is unknown or a student is deceased

Approval of an application of Request to Return to University submitted by a student who has been removed from the University Register may be approved by the President after consultation with the Faculty Council.

#### **Credits Granted to Transfer Students**

Credits for General Education, Language and Study Abroad courses for students entering as third-year students shall be granted for courses which are consistent with the general scope and purpose of the lower-division curriculum. Third-year transfer students entering with fewer than 68 transferable credits shall be assigned make-up coursework as determined by the Dean of Faculty in consultation with the Committee on Curriculum.

Graduates of specialized schools, junior colleges, higher vocational schools and four-year colleges/universities, and the students who have completed at least two years of coursework in an accredited four-year college/university may be admitted, in principle, into the third year as transfer students by passing the entrance examinations. ("Two years of coursework" means successful completion of at least 62 credits.)

- a. Language skills both in English and Japanese must be adequate for upper division courses; more specifically, a TOEFL score of 480 or equivalent English proficiency is required for admission. In exceptional cases other evidence of English proficiency will be considered.



- b. Only courses in which a grade of C or better was earned may be transferred, and the average grade of the courses taken must be 2.0 or better. (In the case of systems which provide only the grades of A, B, and C, A=3.5 points, B=2.0 points, C=1.0 point.)

#### **Credits Accepted from Other Institutions for Students Matriculated at MIU**

1. The University may recognize up to 30 of the credits previously earned at other institutions by students admitted to the University as first-year students who have previously graduated from or dropped out of a two-year or four-year college/university.
2. If it is the judgment of the Faculty Council that it would be educationally beneficial to do so, up to 60 credits may be granted toward a degree for studies undertaken at another four-year or two-year college/university for regularly-matriculated students (not applicable to Transfer or Roll-Over students).

#### **International Exchange**

MIU currently has academic exchange agreements with universities in Korea, Hong Kong, Taiwan, England, etc. that offer diverse opportunities for academic exchange, such as student and faculty exchange.

#### **International and Domestic Exchange Programs**

MIU has entered into exchange agreements overseas with Sookmyung Women's University, the University of Seoul and Yeungnam University in Korea, Centennial College in Hong Kong, Providence University in Taiwan, and York St John University in the UK, and domestically with Kansai University of International Studies, Shukutoku University, Hokuriku Gakuin University, Toyama University of International Studies, Kyoai Gakuen University and Taisho University. According to the agreements, students from each university may study at the other university on a reciprocal basis. Students pay fees and receive credits at their own university and are responsible for all additional expenses incurred in studying abroad. However, they do not pay additional tuition or enrollment fees at the institution they are visiting.

Interested MIU students will apply for permission to be an exchange student at associated institutions. Their academic program must be approved in advance in order to count for MIU credit. Work to be accepted for academic credit must be completed satisfactorily. Details will be provided by the Global Education Center during spring semester. Exchange will normally occur during fall of the third year and will usually involve Specialized Course credits. Students completing Teacher Certification requirements will generally have to spend one or more additional semesters at MIU in order to be able to participate in the program.

#### **Consortium of Miyazaki Area Universities and Credit Exchange**

Miyazaki International University is a member of the Consortium of Miyazaki Area Universities. MIU students may apply for permission to take and receive credit for the following courses at other institutions participating in the Consortium of Miyazaki Area Universities:

- Moral Education, Japanese Constitution, Physical Education.

All three courses are part of the teaching certification program and use Japanese as the language of instruction. Students may only take these courses in certain circumstances affecting their class schedule at MIU. These circumstances include:

- late entry into the teacher certification program,
- previous failure of the corresponding class at MIU or
- other special circumstances, such as serious illness.

Students who wish to take one of these classes at another institution must submit to the Dean and the director of the teacher certification program a copy of the course description by the end of the first week of class. Based on their evaluation of the course description, the Dean and the director will decide whether a student will be allowed to take the class and receive credit for it. At the end of the semester, students who have taken classes at other institutions are required to submit portfolios of their work in order to help MIU monitor the quality of those courses.

Courses taken through the Consortium will generally not be counted toward graduation.

## 2025 年度 開講科目一覧（国際教養学部、教育学部、大学院）

表 1 開講授業科目一覧表（国際教養学部）※開講準備中 Under Preparation

Table 1 Course List (School of International Liberal Arts)

Category 科目区分	Course Title 授業科目の名称	Number 科目番号	Year Level 配 当 年 次	Credits 単位数	Instructor 担当教員
General Education Courses 基礎教育科目	Freshman Seminar フレッシュマン・セミナー	MIC101	1 前	2	Yasuda
	Introduction to Global Citizenship 世界市民入門	LAI101	1 後	2	Muguerza
	Fundamentals of Information Science 1 情報科学基礎 1	LAI107	1 前	2	Muguerza
	Fundamentals of Information Science 2 情報科学基礎 2	LAI108	1 前	2	Sai
	Multilingual and Cultural 多国語と文化				
	Chinese Culture and Language 中国の言語と文化	CL102CHN	1 後	2	Chang
	Central and South American Culture and Language 中南米の言語と文化	CL102BRA	1 後	2	Miwa
	Canadian Culture and Language カナダの言語と文化	CL102CAN	1 前	2	Waterfield
	Polish Culture and Language ポーランドの言語と文化	CL102POL	1 後	2	Mlodkowski
	Filipino Culture and Language フィリピンの言語と文化	CL102PHL	1 後	2	Muguerza
	Australian Culture and Language オーストラリアの言語と文化	CL102AUS	1 前	2	Stanley
	British Culture and Language 英国の言語と文化	CL102GBR	1 前	2	Head
	American Culture and Language 米国の言語と文化	CL102USA	1 前	2	Schmidt
	German Culture and Language ドイツの言語と文化	CL102GER	1 後	2	Spiegel
	Introduction to Natural/Life Science 自然・生命科学概論	LAI103	1 後	2	Muguerza
	Introduction to Mathematical Thought 数理思考概論	LAI104	1	2	※
	Introduction to Information Literacy 情報リテラシー	LAI106	1 前	2	Sai
	Introduction to Art History 美術史概論	LAH101	1	2	Lin
	Introduction to Religion 宗教学概論	LAH102	1 後	2	Spiegel
	Introduction to Philosophy 哲学概論	LAH103	1 前	2	Spiegel
	Introduction to Literature 文学概論	LAH104	1 前	2	Dunne
	Introduction to History 歴史学概論	LAH105	1 後	2	Jimenez
	English Language Lab. 1 英語総合演習 1	LAH106	1 前	1	Yamamoto/ Waterfield

	English Language Lab. 2 英語総合演習 2	LAH107	1 後	1	Yamamoto/ Waterfield
Social Sciences 社会科学	Introduction to Anthropology 人類学概論	LAS101	1 前	2	Occhi
	Introduction to Economics 経済学概論	LAS102	1 前	2	Malek
	Introduction to Political Science 政治学概論	LAS103	1 後	2	※TBD
	Introduction to Psychology 心理学概論	LAS104	1 後	2	Kobayashi
	Introduction to Sociology 社会学概論	LAS105	1 前	2	Bolzonar
Study of Social Issues 社会課題の研究	Understanding Cross-Cultural Communi- cation 異文化コミュニケーションの理解	LAI201	2 前	2	※
	International Social Issues 国際社会の課題	LAI202	2 前	2	Saraiva
	Comparative Political Issues 比較政治の課題	LAI204	2 前	2	Saraiva
	Issues in Human Relationships 人間関係の課題	LAI205	2 前	2	Kasai
	Modern Design 現代デザイン	LAI209	2 前	2	Lin
Contemporary Japanese Arts and Culture 現代日本の芸術文化	Japanese Popular Culture 日本の大衆文化	LAI206	2 前	2	Occhi
	Japanese Art 日本の美術	LAI207	2 前	2	※
	Japanese Photographic Expression and Methods 日本の写真表現と撮影法	LAI208	2 前	2	Stanley
Business Management ビジネス・マネジメント	Introduction to Marketing マーケティング	IBM101	1 前	2	Kuwabara
	Introduction to Accounting 1 会計学 1	IBM102	2 前	2	Sakamoto
	Introduction to Accounting 2 会計学 2	IBM201	2 後	2	※
	Introduction to Bookkeeping 簿記	IBM103	1 後	2	Sakamoto
	Introduction to Modern Business Theory 現代ビジネス論	IBM202	2 前	2	Kuwabara
	Introduction to General Business Practice 1 ビジネス実務総論 1	IBM104	1 後	2	Kuwabara
	Introduction to General Business Practice 2 ビジネス実務総論 2	IBM203	2 前	2	Kuwabara
	Introduction to Management Strategies 経営戦略入門	IBM105	1 前	2	Kuwabara
Hospitality and Tourism. ホスピタリティ・観光	Introduction to Tourism 観光概論	HTM102	1 前	2	Proyrungroj
	Events Planning and Marketing イベント企画とマーケティング	HTM201	2 前	2	Proyrungroj
	SDGs in Tourism 観光における SDGs	HTM101	1 後	2	Proyrungroj
English Education 英語教育	Linguistics for English Learning 英語学習のための言語学	TCE101	1 後	2	Kim
	Literary Studies for English Learning	TCE102	1 前	2	Hayase

	英語学習のための文学 Phonology for English Pronunciation Instruction 英語発音指導のための音韻学 English Literature A 英語文学 A English Literature B 英語文学 B Introduction to the Teaching Profession 教職概論 TC English 教職英語 Principles of Education 教育原理 Health Science 健康の科学 Physical Education 体育実技 Constitution of Japan 日本国憲法	TCE103	1 後	2	Yamamoto
		TCE104	1 後	2	Hayase
		TCE201	2 前	2	Dunne
		TCE105	1 前	2	Kawahara
		TCE106	1 後	2	Yamamoto
		TCE107	1 後	2	Kawahara
		TCE108	1 後	1	Murakami
		TCE109	1 前	1	Goto
		TCE202	2 前	2	Saho
	Structure of the Educational Curriculum 教育課程論 The Educational System 教育制度論 Second Language Acquisition Theory 1 第二言語習得論 1 ICT in Education 教育と ICT 活用の方法 Cross-Cultural Understanding for English Learning 英語学習のための異文化理解	TCE203	2 前	2	Endo
		TCE204	2 前	2	Yuda
		TCE205	2 前	2	Kim
		TCE110	1 後	1	Kobayashi
		TCE111	1 前	2	Hayase

Language Courses 言語科目	English 英語	Communicative English 1 コミュニケーション英語 1	CE1	1 前	4	Adachi Head
		Communicative English 2 コミュニケーション英語 2	CE2	1 後	4	Howard Rodda
		Communicative English 3 コミュニケーション英語 3	CE3	2 前	4	Stanley Schmidt
		Academic English 1 アカデミック英語 1	AE1	1 前	4	Waterfield Yamamoto
		Academic English 2 アカデミック英語 2	AE2	1 後	4	Kim Kurogi
		Academic English 3 アカデミック英語 3	AE3	2 前	4	Kaizawa
	Japanese 日本語	Japanese Expression 1 日本語表現 1	JEX1	1 後	2	Kawagoe
		Japanese Expression 2 日本語表現 2	JEX2	2 前	2	Kawagoe
		Japanese Expression 3 日本語表現 3	JEX3	3 前	2	Kawagoe
		Japanese 1 日本語 1	JA1	全前後	3	Kano
		Japanese 2 日本語 2	JA2	全前後	3	Tanaka
		Japanese 3	JA3	全前後	3	Naito

	日本語 3 Japanese 4 日本語 4 Japanese 5 日本語 5 Japanese 6 日本語 6	JA4 JA5 JA6	全前後 全前後 全前後	2 2 2	I.Hayase I.Hayase I.Hayase
--	--	-------------------	-------------------	-------------	----------------------------------

Career Education キャリア教育科目	Career Design 1 キャリア・デザイン 1 (日本人・留学生合同)	CED1	1 前	2	Fukuda
	Career Design 2 キャリア・デザイン 2	CED2	2 前	2	Fukuda
	Career Design 3 キャリア・デザイン 3	CED3	3 前	2	Fukuda
	Career Design 2F キャリア・デザイン 2 (留学生用)	CED7	2 前	2	Wada
	Career Design 3F キャリア・デザイン 3 (留学生用)	CED8	3 前	2	Wada
	Career Activities キャリア・アクティビティー	CED4	全	1	※
	Natural Disasters and Prevention 自然災害と防災	CED6	全	2	※

Study Abroad 海外研修科目	Second Language 第二言語	SAB201	2 後	6	Hayase
	Independent Study 自由研究	SAB202	2 後	2	Hayase
	Area Studies 地域研究	SAB203	2 後	6	Hayase

Specialized Education 専門教育科目						
Humanities 人文学	Art 美術	Art and Society 美術と社会	LAH301	3/4	2	Lin
		Topics in International Art 国際美術の課題	LAH302	3/4	2	Lin
	Language and Literature 言語と文学	World Literature in English 英語による世界の諸文学	LAH303	3 後	2	Dunne
		Japanese Literature 日本文学	LAH304	3/4	2	※
		Comparative Literature 比較文学	LAH305	3 後	2	Dunne
		Topics in Linguistics 言語学の課題	LAH306	3 後	2	Howard
		British Literature 英文学	LAH307	3 前	2	Dunne
		American Literature 米文学	LAH308	3 前	2	Dunne
	Philosophy and Religion 哲学と宗教	Logic 論理学	LAH313	3 前	2	Spiegel
		Philosophy East and West 東西哲学	LAH312	3 後	2	Spiegel
		Ethical Theory	LAH314	3 前	2	Spiegel

Social Science 社会科学		倫理学理論 European Intellectual History ヨーロッパ主知主義史	LAH315	3 前	2	Jimenez
		Religion and Contemporary Society 宗教と現代社会	LAH316	3 後	2	Bolzonar
	History 歴史	Japanese History 日本の歴史	LAH317	3/4	2	※
		Modern World History 近世世界史	LAH318	3 後	2	Jimenez
		Comparative History 比較歴史学	LAH319	3 前	2	Jimenez
		Early Modern Europe 近世ヨーロッパ史	LAH320	3 前	2	Jimenez
		Topics in History and Historiography 歴史と歴史学の課題	LAH321	3 後	2	Jimenez
	Anthropology 人類学	World Ethnography 世界民族誌学	LAS301	3 前	2	Occhi
		Topics in Anthropology 人類学の課題	LAS302	3 後	2	Occhi
	Political Science 政治学	Comparative Foreign Policy 比較外交政策論	LAS303	3 後	2	Saraiva
		World Politics 世界の政治	LAS304	3 前	2	Saraiva
	Psychology 心理学	Topics in Mental Health メンタルヘルスの課題	LAS306	3 前	2	Kasai
		Developmental Psychology 発達心理学	LAS307	3 前	2	Kasai
		Counseling Psychology カウンセリング心理学	LAS308	3 後	2	Kasai
		Topics in Psychology 心理学の課題	LAS309	3 後	2	※
		Positive Psychology ポジティブ心理学	LAS310	3 後	2	Kobayashi
	Sociology 社会学	Contemporary Social Theory 現代社会理論	LAS3011	3 前	2	Bolzonar
		Japanese Society 日本の社会	LAS3012	3 後	2	Occhi
		Topics in Sociology 社会学の課題	LAS3013	3/4	2	※
		Politics and Society in the European Union EU の政治と社会	LAS3014	3 後	2	Bolzonar
Interdisciplinary Studies 学際的研究		Research Methods 1: Data Collection 研究法Iデータ収集	LAI301	3 前	2	Kobayashi
		Research Methods 2: Data Analysis 研 究法IIデータ分析	LAI302	3 後	2	Kobayashi
		Foundations of Global Studies グローバル・スタディの基礎	LAI303	3 前	2	Mlodowski
		Conflict and Peace Studies 紛争研究と平和論	LAI305	3 後	2	Saraiva
		English Through Presentation and Debate 表現とディベート	LAI306	3 前	2	Head
		International Relations 国際関係論	LAI308	3 前	2	Saraiva

	Introduction to Artificial Intelligence 人工知能概論	LAI311	3 後	2	Sai
	Introduction to Data Science データサイエンス概論	LAI312	3 前	2	Sai
	Introduction to Information and Communication Networks 情報通信ネットワーク概論	IBM322	3 前	2	Sai
	General Botany 植物学概論	LAI316	3/4 前	2	Muguerza
	The Global Environment 地球環境	LAI313	3 前	2	Muguerza
	Presentation Technique and Design プレゼンテーション技術と表現	LAI314	3 前	2	Adachi
	Modern Photography 現代の写真	LAI315	3 後	2	Stanley
Business Management ビジネス・マネジ メント	Microeconomics ミクロ経済学	IBM301	3 前	2	Malek
	Macroeconomics マクロ経済学	IBM302	3 後	2	Mlodlowski
	Business Administration 経営学の課題	IBM303	3 前	2	※
	International Trade 国際貿易	IBM304	3 後	2	Malek
	International Business 国際ビジネス	IBM306	3 前	2	Mlodlowski
	ICT Integrated Practice ICT 総合実践	IBM307	3 後		Kuwabara
	Economics of Development 開発経済学	IBM309	3 前	2	Mlodlowski
	Economy of Japan 日本経済	IBM310	3 前	2	Malek
	Topics in Economics 経済学の課題	IBM312	3 前	2	※
	Investment Management 投資運用	IBM314	3 前	2	Mlodlowski
	Corporate Finance コーポレートファイナンス	IBM316	3 前	2	Mlodlowski
	Studies in Entrepreneurship アントレプレナーシップ	IBM318	3 後	2	Mlodlowski
	Business English ビジネス英語	IBM323	3 後	2	Simpson
	Practical Business Exercises 1 ビジネス実践演習 1	IBM324	3 前	2	Kuwabara
	Practical Business Exercises 2 ビジネス実践演習 2	IBM325	3 後	2	Kuwabara
	Practical Business Exercises 3 ビジネス実践演習 3	IBM327	3 後	2	Kuwabara Suwazono
	Internship インターンシップ	IBM326	3 後	2	※
Hospitality and Tourism. ホスピタリティ・ 観光	Tourism Industry 観光産業	IBM305	3 後	2	Proyrungroj
	Tour Operator and Travel Agency Operations	HTM306	3 前	2	Proyrungroj



	観光業務とプランニング Marketing in Hospitality and Tourism Business ホスピタリティと観光ビジネスのマーケティング	HTM307	3 後	2	Proyrungroj
	Tourism English 観光英語	HTM301	3 前	2	Yamamoto
	Introduction to Tourism Informatics 観光情報学入門	HTM303	3 前	2	Proyrungroj
	Hospitality Management ホスピタリティマネジメント	IBM320	3 前	2	Yamamoto
	Business Japanese 1 (international student) 留学生のためのビジネス日本語 1	JAB1	全	2	Naito
	Business Japanese 2 (international student) 留学生のためのビジネス日本語 2	JAB2	全	2	Naito
	Tourism in the Digital Age デジタル時代の観光	HTM304	3/4	2	※
	Digital Transformation in Tourism 観光におけるデジタルトランスフォーメーション	HTM305	3/4	2	※
	Regional Cultures of Japan 1 日本の地域文化 1	LAI503	全	1	Waterfield
	Regional Cultures of Japan 2 日本の地域文化 2	LAI504	全	1	Waterfield
	Regional Cultures of Japan 3 日本の地域文化 3	LAI505	全	1	Waterfield
	Regional Cultures of Japan 4 日本の地域文化 4	LAI506	全	1	Waterfield
	Regional Issues Seminar 地域課題演習	LAI508	全	1	Kasai
	Special Activities 特別活動の指導法	TCE206	2 前	2	Endo
English Education 英語教育	English Teaching Methodologies 1 英語科教育法 1	TCE207	2 後	2	Waterfield
	Second Language Acquisition Theory 2 第二言語習得論 2	TCE208	3 前	2	Howard
	North American Thought and Culture 北米の思想と文化	TCE209	3 前	2	Hayase
	British Thought and Culture 1 イギリスの思想と文化 1	TCE210	3 前	2	Jimenez
	Educational Technologies and Techniques of Communication コミュニケーションのための教育技術と教育機器	TCE211	2 後	2	H. Watanebe
	English Linguistics 1 英語学 1	TCE301	2 後	2	Howard
	English Linguistics 2 英語学 2	TCE302	3 前	2	Kim
	Understanding English Literature 英語文学の理解	TCE303	4 前	2	Hayase
	English Literature Analysis 1 英語文学分析	TCE304	4 前	2	Dunne

Language Assessment 言語評価	TCE325	4 後	2	Yamamoto
English Teaching Methodologies 2 英語 科教育法 2	TCE306	3 前	2	Waterfield
English Teaching Methodologies 3 英語 科教育法 3	TCE307	3 後	2	Howard
English Teaching Methodologies 4 英語 科教育法 4	TCE408	4 前	2	Waterfield
Academic Speaking for Instruction 指導のためのアカデミック・ スピーキング	TCE309	2 後	2	Yamamoto
Academic Writing for Instruction 指導のためのアカデミック・ ライティング	TCE310	2 後	2	Head
Multicultural Awareness 多文化共生論	TCE311	3 後	2	Occhi
Moral Education 道徳教育論	TCE313	3 前	2	Sei
Teaching Methods in Comprehensive Study Time 総合的な学習の時間の指導法	TCE314	3 後	1	Endo
Theories and Methods of Student Guidance 生徒・進路指導論	TCE315	3 後	1	Tagami
Educational Counseling 教育相談	TCE316	3 前	2	Matsuda
Educational Psychology 教育心理学	TCE317	3 前	2	Kobayashi
Introduction to Special Education 特別支援教育概論	TCE324	3 後	2	Matsuda
Home Care Practicum 介護等体験	TCE318	3 後	2	Tagami Sugita
Pre- and Post-Practicum 事前・事後指導	TCE319	3 前後	1	Waterfield Yamamoto
Practicum IA 教育実習 IA	TCE320	3 後	4	Waterfield Yamamoto
Practicum IB 教育実習 IB	TCE321	3 後	2	Waterfield Yamamoto
Practical Applications in the Teaching Profession (JHS/HS) 教職実践演習 (中・高)	TCE422	4 後	2	Hayase
English Expression as a Language of Instruction 指導のための英語表現	TCE323	2 前	2	Howard
Senior Thesis 1 卒業論文 1	LAI401	3 後	2	All Faculty
Senior Thesis 2 卒業論文 2	LAI402	4 後	4	All Faculty

Optional Courses 自主研究科目	Special Readings in the Humanities 1 人文科学の文献講読 1	LAH501	全	2	※
	Special Readings in the Humanities 2 人文科学の文献講読 2	LAH502	全	2	※
	Special Readings in the Social Science 1 社会科学の文献講読 1	LAS501	全	2	※
	Special Readings in the Social Science 2 社会科学の文献講読 2	LAS502	全	2	※
	Chinese 1 中国語 1	ZH1	全前	2	※
	Chinese 2 中国語 2	ZH2	全後	2	※
	Korean 1 韓国語 1	KO1	全前	2	※
	Korean 2 韓国語 2	KO2	全後	2	※
	Industrial Bookkeeping 企業簿記	LAI507	全前	2	※

MIYAZAKI INTERNATIONAL UNIVERSITY

DROP / ADD (CHANGE OF SCHEDULE)

辞退 / 追加 (時間割り変更届)

Circle one: SPRING(前期) / FALL(後期)

Year(年度) : \_\_\_\_\_

(1st / 2nd / 3rd / 4th) ID(学籍番号) No. \_\_\_\_\_  
(circle one)(○を付ける)

Student's name(学生氏名): \_\_\_\_\_  
(please print) (date)(日付)

I want to **drop**: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_ (Day/Time) \_\_\_\_\_  
(辞退) (科目番号) (授業科目名) (曜日/時間)

Instructor signature(担当教員の署名): \_\_\_\_\_  
(date)(日付)

I want to **drop**: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_ (Day/Time) \_\_\_\_\_  
(辞退) (科目番号) (授業科目名) (曜日/時間)

Instructor signature(担当教員の署名): \_\_\_\_\_  
(date)(日付)

=====

I want to **add**: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_ (Day/Time) \_\_\_\_\_  
(追加) (科目番号) (授業科目名) (曜日/時間)

Instructor signature(担当教員の署名): \_\_\_\_\_  
(date)(日付)

I want to **add**: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_ (Day/Time) \_\_\_\_\_  
(追加) (科目番号) (授業科目名) (曜日/時間)

Instructor signature(担当教員の署名): \_\_\_\_\_  
(date)(日付)

=====

Registrar(教務係り): \_\_\_\_\_  
( date )(日付)

The student's schedule is not changed until this form has been signed by the registrar.  
この用紙に教務係りが署名するまで、学生の時間割りは変更できません。

MIYAZAKI INTERNATIONAL UNIVERSITY

APPLICATION FOR THE GRADE OF INCOMPLETE

The grade of Incomplete for required work in a course not completed by the end of the term may be given for circumstances beyond the student's control, such as health or family emergencies. Work must be completed by the due date or a Fail grade is awarded. Completed work must be submitted to the registrar.

(Fr. / So. / Jr. / Sr.) ID No. \_\_\_\_\_ Semester \_\_\_\_\_ Year \_\_\_\_\_  
(circle one)

Student's name: \_\_\_\_\_  
(please print) (date)

Course: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_

Name(s) of instructor (s): \_\_\_\_\_

Please explain the reason for this application. (Student or Instructor or Asst. Dean of Students)

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

INSTRUCTOR COMPLETION:

This application is approved: \_\_\_\_\_ The application is denied: \_\_\_\_\_

The following work or tasks must be completed (please provide a full explanation).

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

This work is due on: \_\_\_\_\_

Signature(s) of  
the instructor(s): \_\_\_\_\_  
(date)

\_\_\_\_\_  
(date)

I understand the assignments listed above and agree to submit the work by the due date.

Student's signature: \_\_\_\_\_

I received this application  
by the application deadline: \_\_\_\_\_  
(registrar) (date)

# Request for Approval of Program of Study at an Overseas University in 3<sup>rd</sup> or 4<sup>th</sup> Year

Name: \_\_\_\_\_ Student ID: \_\_\_\_\_

I hereby request approval of a program of study taken at another university overseas to satisfy upper division graduation requirements. I understand that courses taken overseas will be given a grade of N (Credit Authorized; no grade recorded) and that no courses will be approved without submission of this form.

Name of the Overseas Institution: \_\_\_\_\_

Duration of the Overseas Program: \_\_\_\_\_

Major at MIU: \_\_\_\_\_

Reason for Applying for Program of Study: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Course(s) Taken at the Overseas Institution (Please provide copy of course description)	MIU Major Requirement(s) to be Fulfilled	Approval (Yes/No)

Student Signature: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Advisor Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Dean Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Registrar Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

**Request for Approval to Register for Upper Division Courses  
to Makeup Lower Division Requirements**

Name: \_\_\_\_\_ Student ID: \_\_\_\_\_

Current TOEFL/TOEIC (circle one) Score: \_\_\_\_\_

I hereby request permission to register for the following upper division courses to satisfy incomplete lower division requirements.

Incomplete Lower Division Requirements	Upper Division Courses Requested

Student Signature: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Advisor Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Dean Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Registrar Approval: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

MIYAZAKI INTERNATIONAL UNIVERSITY  
REQUIRED WITHDRAWAL FROM A COURSE

When deemed appropriate, the University or instructor(s) may require student(s) to withdraw from a course or courses at any time. Faculty may only require student(s) to withdraw by filling out a REQUIRED WITHDRAWAL FROM A COURSE form, available from the Registrar, and filing that form with the Registrar. The Grade of 'R' will appear on the student's transcript. However, the grade of 'R' may be removed by repeating the same course.

YEAR: 20\_\_\_\_ SEMESTER: (circle one) SPRING / FALL

(1st / 2nd / 3rd / 4th) ID No. \_\_\_\_\_  
(circle one)

Student's name: \_\_\_\_\_  
(date) (please print)

Course: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_

Instructor(s): \_\_\_\_\_

Instructor(s): \_\_\_\_\_

Please explain the reason for this application. (Instructor) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Please provide a signature by the course instructor(s), the student's academic advisor and the student to indicate that this action has been discussed.

\_\_\_\_\_  
(course instructor signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(course instructor signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(academic advisor signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(Dean of Faculty signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(student signature) (printed name)

The student has been required to withdraw from the course:

\_\_\_\_\_  
(registrar) (date)



MIYAZAKI INTERNATIONAL UNIVERSITY

WITHDRAWAL FROM A COURSE

Students may voluntarily withdraw from a course without penalty until the last week of classes, the deadline to be announced by the registrar. The Grade of 'W' will appear on the student's transcript. A student can only withdraw from a course by completing a WITHDRAWAL FROM A COURSE form, available from the Registrar, and filing that form with the Registrar.

(1st / 2nd / 3rd / 4th) ID No. \_\_\_\_\_  
(circle one)

Student's name: \_\_\_\_\_  
(please print) (date)

Course: (course no.) \_\_\_\_\_ (title) \_\_\_\_\_

Instructor(s): \_\_\_\_\_

Instructor(s): \_\_\_\_\_

Approval from the course instructor(s) or the student's academic advisor is not required when a student withdraws from a course. However, students are asked to inform their instructor(s) and their academic advisor of their intention to withdraw from a course.

Please provide a signature by the course instructor(s) and your academic advisor to indicate that you have discussed this action.

\_\_\_\_\_  
(course instructor signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(course instructor signature) (printed name)

\_\_\_\_\_  
(academic advisor signature) (printed name)

I am withdrawing from the course listed above.

\_\_\_\_\_  
(student's signature) (printed name)

The student has been withdrawn from the course:

\_\_\_\_\_  
(registrar) (date)

# Course Selection/Change Application Form

Date of application\_\_\_\_\_

To Dean of SILA, Miyazaki International University

(Student ID Number)\_\_\_\_\_

Name\_\_\_\_\_

## 《 Course Selection 》

Please circle (○) your choice in the box below.	Course Name
	Global Liberal Arts Course
	International Business Management Course
	Hospitality and Tourism Management Course
	English Education Course

## 《 Course Change 》

	From	To
Course Name	<input type="checkbox"/> Global Liberal Arts Course  <input type="checkbox"/> International Business Management Course  <input type="checkbox"/> Hospitality and Tourism Management Course  <input type="checkbox"/> English Education Course	<input type="checkbox"/> Global Liberal Arts Course  <input type="checkbox"/> International Business Management Course  <input type="checkbox"/> Hospitality and Tourism Management Course  <input type="checkbox"/> English Education Course



